

CA Product Vision

ユーザガイド

Winter 2012



このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i)本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: はじめに	11
CA Product Vision について	11
CA Product Vision と CA Clarity PPM の併用について	11
CA Product Vision の主要用語	12
第 2 章: クイックツアー	15
CA Product Vision メニュー	15
管理メニュー	16
ページ機能	16
ナビゲーションリンク	17
必須フィールド	17
ルックアップの自動候補表示	18
ページフィルタ	18
リスト ページフィルタの作成	18
フィルタの編集または削除	19
オブジェクトの検索	20
リスト ページ	21
リスト表示およびページネーションの設定	21
列を基準にしてリスト ページをソート	22
リスト ページの表示と編集	23
リスト ページフィールドの編集	25
リスト ページの列の設定	26
詳細ページ	27
ルールの編集	28
第 3 章: ビジネス計画	29
ビジネス計画について	29
例: ペルソナおよびソースの作成	29
ソースについて	30
ソースの作成	31
ソースの詳細の編集	31

ソース表示モード	33
ペルソナについて	34
ペルソナの作成	34
ペルソナの詳細の編集	35
ペルソナの詳細の表示	36
製品ロードマップについて	36
ロードマップ ナビゲーション	36
ロードマップからのオブジェクト詳細ビュー	37
製品リリースに関連付けられた要件の表示	38
ロードマップ表示オプションの設定	38
マスタリリースに関連付けられた製品の表示	39

第 4 章: 製品セットアップ 41

製品について	41
製品の作成	41
製品の詳細の編集	42
製品の詳細の表示	44
製品オーナーの変更	45
競合製品を定義する方法	45
製品のリリースまたは要件の作成	45
リリースについて	46
製品リリースの作成	46
製品リリースの詳細の編集	48
製品リリースの詳細の表示	50
製品リリースとマスタリリースの関連付け	51
製品リリースのベースラインの設定	51
リリース ベースラインの比較	51
フィーチャーについて	52
フィーチャーの作成	52
フィーチャーの詳細の編集	53
機能の詳細の表示	55
メモのフィーチャーへの追加	56
添付ファイルのフィーチャーへの追加	56
フィーチャー階層の表示	57
計画値と実績値について	57

第 5 章: 要件の管理 59

要件について	60
例: 複数リリースにまたがるフィーチャー要件の計画	60
要件の作成	61
要件の詳細の編集	62
要件の詳細の表示	65
要件階層	66
例: 階層内の要件の定義	66
子要件の作成	67
子要件の詳細の編集	68
要件と製品リリースの関連付け	71
要件とマスタリリースの関連付け	72
要件とフィーチャーの関連付け	72
製品、リリースまたはフィーチャーの要件の作成	73
ソースの要件の作成	73
既存要件の製品とのリンク	74
要件のマージ	74
要件の削除	75
CA Product Vision からの要件の削除	76
製品、リリースまたはフィーチャーからの要件の削除	76
要件リストの表示および管理	76
トレーサビリティマトリクスの表示	77
要件階層の表示	77
要件のリソースと工数を見積もる方法	78
要件のリソースロールの追加	79
要件のリソースロールの工数見積もり	79
メモの要件への添付	79
添付ファイルの要件への追加	80
チャートとレポートを使用した要件の追跡	80

第 6 章: Chatter の使用 83

Chatter について	83
フォローのオン/オフ切り替え	83
Chatter 情報の表示	84

第 7 章: CA Product Vision と CA Agile Vision の併用 87

CA Product Vision と CA Agile Vision の併用について	88
エピック	89
エピックの作成	89
エピックの要件へのリンク	92
スプリントの作成	92
チームの作成	94
メンバのチームへの追加	95
ユーザ ストーリー	97
要件のユーザ ストーリーの作成	97
ユーザ ストーリーの詳細の編集	99
ユーザ ストーリーの要件へのリンク	102
ユーザ ストーリー タスクの作成	102
メモのユーザ ストーリーへの追加	104
添付ファイルのユーザ ストーリーへの追加	104
問題のユーザ ストーリーへのリンク	105
ユーザ ストーリーへのコメントの追加	105
例: 従来の要件の Agile 開発への接続	106

第 8 章: CA Product Vision と CA Idea Vision の併用 107

CA Product Vision と CA Idea Vision の併用について	107
アイデアの詳細の表示	108
要件の作成とアイデアへのリンク	108
既存要件のアイデアへのリンク	109
製品のアイデアへのリンク	110
ソースのアイデアへのリンク	110
複数のコミュニティのサポート	111

付録 A: アクセス権 (要件管理) 113

CA Product Vision のアクセス権	113
--------------------------------	-----

付録 B: サードパーティ ライセンス契約 115

Ext JS - JavaScript Library	115
JSON 1.0	117
jquery 1.3.2	118

第 1 章: はじめに

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Product Vision について \(P. 11\)](#)

[CA Product Vision と CA Clarity PPM の併用について \(P. 11\)](#)

[CA Product Vision の主要用語 \(P. 12\)](#)

CA Product Vision について

CA Product Vision では、プロジェクト、サービス、製品、リリース、およびフィーチャーの要件を管理できます。CA Product Vision を使用すると、その元の要求者から製品の特定のフィーチャーまたはリリースへの包含まで、要件を追跡できます。要件とその利点、要件のソース、競合する製品、およびランク情報に関する詳細情報を含めることができます。このような種類の情報を要件に関連付けることで、特定の要件を製品リリースに含めるかどうかの判断に役立ちます。

また要件は、スクラム方法から CA Agile Vision™ ユーザストーリーに関連付けることができ、任意のスプリントに対するユーザストーリーの履歴を追跡することができます。ユーザストーリーに関連付けられている要件、および要件を要求したソースを参照できます。

CA Product Vision と CA Clarity PPM の併用について

CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合は、以下のタスクを実行できます。

- ロール階層を CA Clarity PPM から CA Product Vision にダウンロードできます。
- CA Clarity PPM で CA Product Vision の要件を CA Clarity PPM のタスクにリンクできます。

CA Product Vision および CA Clarity PPM の適切な権限を持つ管理者が、これらのタスクを実行します。

統合が完了し、要件とタスクがリンクされると、ユーザは CA Clarity PPM からコストや工数の情報を参照できます。以下の情報が用意されています。

- 計画コスト
- 実際コスト
- 計画コスト vs 実際コスト
- 計画工数
- 実工数
- 残存工数
- 計画工数 vs 実際工数

注: CA Product Vision と CA Clarity PPM の併用の詳細については、「統合ガイド」を参照してください。

CA Product Vision の主要用語

以下のリストで、CA Product Vision の主要用語を定義しています。

カテゴリ

カテゴリは要件を分類する方法です。企業のニーズに特有の、組織の要件カテゴリを定義します。カテゴリの例には以下が含まれます。市場要件、技術要件、機能要件、および非機能要件。

競合他社

製品作成時に、製品が競合他社製品であることを示すことができます。自社で開発中の製品についてと同様の、競合他社製品の詳細情報を格納することができます。要件のソースとして競合製品を使用できます。

エピック

エピックは、製品の複数のリリースおよびスプリントにまたがる複数の子ユーザストーリーの親コンテナとして機能します。エピックを要件にリンクして、トレーサビリティを提供し、計画プロセスに役立てることができます。

フィーチャー

フィーチャーは製品の一部です。フィーチャーは独立したスタンドアロンとして機能します。また、製品の他の部分と連動して機能することもできます。

ペルソナ

ペルソナは一人の人物、または多数の人物の複合物とすることができます。ユーザ、顧客、購入者、またはユーザが要件を作成させる原因となる他の誰かの記述です。要件をペルソナおよびソースにリンクして、トレーサビリティを提供し、計画プロセスに役立てることができます。

製品

ユーザの会社が販売または内部での使用を目的として製造する、価値あるものを示します。製品は、商品または製品、ソフトウェア、構築プロジェクトまたは何らかの消費財である可能性があります。製品は、また IT 環境において、サービス、アプリケーションまたはシステムを表します。

リリース

リリースはプロジェクト、つまり価値の配布で終了する工数に似ています。これらのリリースは、通常、多くのフィーチャーおよび要件を必要とします。

要件

要件は、特定の製品またはサービスがどのようなものであるか、また何が可能かを記述する文書化された仕様です。ユーザに価値を供給するように、製品またはサービスの必要な属性、機能、特製、または品質を定義するステートメントです。

ソース

ソースは、会社または組織である場合があります。ソースに関する情報を収集し、連絡先情報およびその他のマーケット情報を含めることができます。ソースを要件にリンクして、トレーサビリティとコンテキストを提供することができます。

トレーサビリティ

要件をその起源から実装の最低レベル(通常は、テストケースまたは作業項目)まで追跡する機能です。

ユーザストーリー

ユーザストーリーは CA Agile Vision 内で要件を定義する方法です。これらの製品が一緒に使用される場合、CA Product Vision の要件は、CA Agile Vision の関連付けられたユーザストーリーにリンクできます。

第 2 章: クイック ツアー

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Product Vision メニュー](#) (P. 15)

[管理メニュー](#) (P. 16)

[ページ機能](#) (P. 16)

[ページフィルタ](#) (P. 18)

[オブジェクトの検索](#) (P. 20)

[リストページ](#) (P. 21)

[詳細ページ](#) (P. 27)

[ルールの編集](#) (P. 28)

CA Product Vision **メニュー**

[Product Vision]メニューを使用して、製品の要件のすべての局面を管理できるページにアクセスします。

以下のメニュー セクションが[Product Vision]メニューに表示されます。

概要

[概要]メニューの選択項目を使用して、他のユーザから Chatter への通信を表示したり、インボックス内の CA Idea Vision からのアイデアを表示します。

ビジネス計画

[ビジネス計画]メニューの選択項目を使用して、ソースとペルソナをセットアップし、要件の元の要求者まで要件を追跡することができます。また、このセクションから製品ロードマップにアクセスすることもできます。このメニュー セクションの内容に関してセキュリティ設定は利用できません。CA Product Vision のすべてのユーザが、ここにある内容を表示、編集できます。

計画の詳細

[計画の詳細]メニュー セクションにあるセクションを使用して、製品、リリース、フィーチャーおよび要件をセットアップします。ロール ベースのセキュリティによって、このメニュー セクションにある項目へのアクセスを制御します。

管理メニュー

[管理]メニューによって、製品管理ページを以下のメニュー セクションに分類します。

組織

[組織]メニュー セクションの選択項目を使用して、ユーザとロールをセットアップします。

アプリケーション

[アプリケーション]メニュー セクションの選択項目を使用して、マスターリリース、製品、およびリリースをセットアップします。[管理]メニューの製品およびリリースのリンク、または[Product Vision]メニューの[計画の詳細]メニュー セクションを使用できます。

設定

[設定]メニューの選択項目を使用して、以下を管理します。

- プロパティ表示
- リストビューの発行
- カスタム属性
- 統合
- ステータス マッピング

ページ機能

[CA Agile Vision]および[CA Product Vision]ページには、製品をより簡単にセットアップし管理するのに役立つ多くの便利な機能があります。

ナビゲーションリンク

ユーザは、ほとんどすべての CA Product Vision ページからほとんどのページに移動できます。[すべてのレコード]ビューが表示されたリスト ページでは、[アクション]列に[編集]または[表示]アクションが表示されます。[編集]をクリックすると、現在表示されているリスト ページから項目の編集ページに移動します。[表示]をクリックすると、詳細ページに移動します。リスト ページのアイテム(製品や要件など)の作成者に対しては、両方のリンクが表示されます。アイテムを作成しなかった場合、それを編集する権限がありません。表示アクションのみが [アクション]列に表示されます。

リスト ページの階層ビューでは、項目の名前が下線付きのテキストとして表示されます。これらのリンクのいずれかをクリックすると、それぞれの詳細ページに移動します。

メイン メニュー ページでないページで、ヘッダ 上の [リストに戻る] ボタンをクリックすると、前のページに移動します。

ホーム ページに移動するか、または任意のページからカスタム ホーム ページを指定できます。[ホーム] アイコンは [検索] フィールドの横にあります。

以下のオプションを表示するには、アイコンの上にマウスを移動します。

- ホーム ページに移動
- 現在のページをホーム ページに設定

ホーム ページを既定ホーム ページにリセットします。

必須フィールド

左側の赤い境界線付きのフィールドは、必須フィールドです。これらのフィールドに有効なデータが含まれていない場合は、ページ上の変更を保存できません。

ルックアップの自動候補表示

自動候補表示に、ルックアップ属性のテキストフィールドに入力された文字に一致する値のリストが表示されます。たとえば、ルックアップ テキストフィールドに「Bo」と入力すると、システムによって文字列「Bo」が含まれる候補値のリストが表示されます。リストから適切な値を選択します。文字列にさらに文字を追加すると、候補値が絞り込まれます。

ページフィルタ

リストページではヘッダの下にフィルタがあります。このフィルタを使用して、ページに表示する内容を制御できます。リストページで作成されたすべてのフィルタが、選択対象として[フィルタ]ドロップダウンリストに表示されます。リストページで現在使用しているフィルタは、[フィルタ]フィールドに表示されます。

フィルタについては以下の点に注意してください。

- フィルタリングすると、リストページの選択条件は有効な状態のままになります。リストページから離れて戻ってくると、フィルタの選択条件でリストが事前にフィルタリングされます。
- 作成したすべてのフィルタが自動的に保存されます。
- 作成したフィルタは、編集したり削除したりできます。
- リストページのフィルタ条件を上書きしてリスト全体を表示するには、[フィルタのクリア]をクリックします。
- フィルタはブラウザごとにセッション間で保存されます。別のブラウザに切り替えた場合は、フィルタを再度選択し、適用してください。

リスト ページ フィルタの作成

複数のフィルタを作成して保存できます。

リスト ページ フィルタの作成方法

1. フィルタリングするリスト ページを開きます。
2. [フィルタの追加/編集]をクリックします。
[フィルタ]ウィンドウが表示されます。

3. [新規フィルタの作成]オプションを選択します。
4. [プロパティ]セクションで、[フィルタ名]フィールドに名前を入力します。
5. [フィルタ名]フィールドの横にある各ドロップダウンリストの項目を選択することにより、フィルタ条件を選択して絞り込みます。

最初のドロップダウンリストでは、フィールドを選択します。2番目では、[より大きい]や[より小さい]などのオペランドを入力します。3番目では、値を選択して条件を完成させます。フィールドに対するオペランドと値は、最初のドロップダウンリストで選択したフィールドによって変わります。

6. 追加の条件を定義するには、[追加]をクリックします。
7. 完了したら[フィルタ]をクリックします。

定義した条件を使用してリスト ページがフィルタリングされます。また、フィルタは自動的に保存されます。

フィルタの編集または削除

フィルタの名前を編集したり、その条件を変更したりできます。フィルタを削除することもできます。

次の手順に従ってください:

1. 編集するフィルタのリスト ページを開き、[フィルタの追加/編集]をクリックします。

[既存のフィルタを表示]オプションが選択された状態で[フィルタ]ウィンドウが表示されます。

2. 左側のペインでフィルタを選択します。
右側のペインにプロパティが表示されます。
3. フィルタを編集して[フィルタ]をクリックします。

変更が保存され、新しい条件でリスト ページがフィルタリングされます。

オブジェクトの検索

製品のメンバシップに基づいて、製品のオブジェクト(ユーザストーリー、問題、タスク、リリースなど)を検索できます。システム管理者は、すべての製品のオブジェクトを検索できます。

注: 新しく作成された項目に検索用のインデックスを付けるときに、若干の遅延が発生することがあります。新しい項目が検索結果に表示されるまでには、最大で数分かかることがあります。

次の手順に従ってください:

1. ワークスペースの右上にあるテキストフィールドに、キーワードまたは番号(ID)を入力します。たとえば、オブジェクトのタイトル、説明、IDなどを入力します。

注: 検索文字列は、その前にワイルドカード文字を使用せずに入力します。

以下の例では、検索用の正しい文字列と正しくない文字列を示します。

正しい

```
as a user, I  
14923
```

正しくない:

```
*as a user, I  
*14923
```

2. 虫めがねアイコンをクリックします。

検索結果のページが表示されます。以下のフィールドに、オブジェクトタイプでアルファベット順にグループ化された情報が表示されます。

アクション

オブジェクトに対して実行できるアクションのタイプ(詳細の表示または編集)を定義します。

ID

オブジェクト ID を表示します。

タイトル

オブジェクトのタイトルを表示します。

タイプ

オブジェクトタイプを表示します。

担当者

オブジェクトの担当者を表示します。

作成日

オブジェクトが作成された日付を表示します。

更新日

オブジェクトが最後に更新された日付を表示します。

結果は、任意の列を使用してグループ化できます。列名を右クリックしてこのフィールドでグループ化]を選択します。オブジェクトごとのアルファベット順リストに結果を復元するには[グループ化をクリア]をクリックします。

リスト ページ

以下のセクションでは、リスト ページの使用方法和、リスト ページに含まれる情報を管理する方法について説明します。

[リスト表示およびページネーション \(P. 21\)](#)

[並べ替えリスト ページ情報 \(P. 22\)](#)

[リスト ページの表示と編集 \(P. 23\)](#)

[リスト ページフィールドの編集 \(P. 25\)](#)

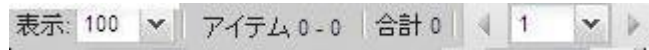
[リスト ページの列の設定 \(P. 26\)](#)

リスト表示およびページネーションの設定

大きな製品には何百または何千もの要件がある場合があります。CA Product Vision の[要件]リスト ページには、既定で一度に 100 個の要件が表示されます。

リスト ページ上で表示する要件の数は、減らすことができます。一度に表示する要件の数を設定すると、その数がリスト ページの新しい既定の表示数になります。

作業領域の上部と下部にあるページネーションツールは、ページ上の数および現在表示されているアイテムの数を表示します。



ページを前後に移動するには、作業領域の一番上にある[ナビゲーション]ボタンをクリックします。また、ナビゲーション ボタンの間にあるドロップダウンリストを使用して、特定のページに直接移動することもできます。

表示する要件数の設定方法

1. [表示]フィールドで、下向き矢印をクリックします。
2. アイテムの数を選択します。

最小値は 10 アイテムです。最大値は 100 です。

列を基準にしてリスト ページをソート

データがリスト テーブル形式で表示される一部のページでは、任意の列でリストを並べ替えることができます。

リスト ページのソートを削除して元のリストに戻すには、[グループ化をクリア]をクリックします。



アクション	要件 ID ▲	▼ タイトル
表示 編集	REQ-000001	A ↓ 昇順
表示 編集	REQ-000002	Z ↓ 降順
表示 編集	REQ-000003	
表示 編集	REQ-000004	
表示 編集	REQ-000005	

列を基準にしてリスト ページをソートする方法

1. カーソルをリストの列見出しに移動します。

2. リストの列見出しのメニュー ボタンをクリックし、以下のいずれかを実行します。
 - [昇順にソート]または[降順にソート]を選択して、目的の順番で、リスト項目を順序付けます。
 - [このフィールドでグループ化]をクリックして、列内の類似項目をリストにグループ化します。

注: 複数の値を使用して列フィールドのソートまたはグループ化を実行すると、列フィールドの各値についてソートが実行されます。たとえば、要件として複数の製品を含む製品列フィールドをソートすると、各製品ごとにグループ化が行われます。

リスト ページの表示と編集

リスト ページを表示するには、[Product Vision]メニューに移動してメニュー項目を選択します。

リスト ページの[アクション]列に、リスト項目の表示および編集用のリンクが含まれる場合、そのリスト アイテムを変更できます。リンクを使用して、以下の操作を行うことができます。

- **編集。** アイテムの詳細ページを開き、アクティブなフィールドのいずれかで値に変更を加えることができます。

- 表示。表示専用モードで、詳細ページを開くことができます。リスト項目の作成者または製品オーナーは、[編集]をクリックしてフィールド値を変更できます。

新規 新規の子 リリースに割り当て フィーチャーに割り当て

アクション	要件 ID	
表示 編集	REQ-000004	1
表示 編集	REQ-000003	
表示	REQ-000002	PTB_CHIdSet061
表示	REQ-000001	PTB_Requirement1

[表示]をクリックして、ハイライトされたリスト項目の詳細を表示します。
[編集]をクリックして、詳細を変更します。

表示モードについて

[アクション]列に[表示]リンクのみが含まれている場合は、ユーザに適切な権限がないため、詳細を変更できません。

新規 新規の子 リリースに割り当て フィーチャーに割り当て

アクション	要件 ID	タイトル ▲
表示 編集	REQ-000004	JPN_子_要件1
表示 編集	REQ-000003	
表示	REQ-000002	
表示	REQ-000001	

[アクション]列に[表示]のみが表示されている場合は、コンポーネントの詳細を編集する権限がありません。

ユーザがリスト項目の所有者でなくても、一部のアクションは[表示]モードで実行できます。以下のテーブルは、[表示]モードから実行可能な操作を示しています。

表示モード アクション	製品所有者または作成者は実行可能か?	製品所有者または作成者でないユーザは実行可能か?
製品、リリースおよびフィーチャーの要件を追加または削除する。	はい	はい

表示モード アクション	製品所有者または作成者は実行可能か?	製品所有者または作成者でないユーザは実行可能か?
製品、リリースおよびフィーチャーの要件を開き編集する。	はい	いいえ
製品のリリースを追加または削除する。	はい	はい
製品のリスト表示されたリリースを開き編集する。	はい	いいえ
フィーチャーまたは要件のメモを追加または削除する。	はい	いいえ
フィーチャーの添付ファイルを追加および削除する。	はい	いいえ

リスト ページ フィールドの編集

リスト ページ上の多くのフィールドは直接編集できるため、変更するリスト項目の詳細ページを表示するために何回もクリックせずに済みます。

リスト ページ フィールド内でクリックして、編集を開始します。フィールドが編集可能な場合、そのフィールドはアクティブ化されるので、値を変更することができます。

フィールド値を変更すると、更新された値を示す小さな赤い三角形がフィールドの左上に表示されます。編集可能なフィールドに加えられた変更を保存するには、リストビューの最上部で[保存]をクリックします。保存せずに元のフィールド値に戻すには、[変更を破棄]をクリックします。

以下の編集および選択ツールをリスト フィールドの編集に利用できます。

- テキスト ボックス
- ドロップダウンリスト

削除されたアイテムの回復

リスト ページ上の項目を誤って削除した場合は、ごみ箱からその項目を回復できます。

削除された項目を回復する方法

1. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
2. [ホーム]をクリックし、ごみ箱に移動します。
3. 目的の項目を選択して[削除の解除]をクリックします。

リスト ページの列の設定

一部のリスト ページでは、表示される列を選択できます。既定の列を削除したり、必要な列を追加したりできます。カスタム フィールド(属性とも呼ばれる)を追加した場合は、カスタム フィールドを適切なリスト ページに列として追加できます。たとえば、要件に関するカスタム フィールドを追加した場合は、それらのカスタム フィールドを[要件]リスト ページに表示できるようになります。

リスト ページの設定方法

1. リスト ページを開き、[設定]をクリックします。
[ビューの設定]ウィンドウが表示されます。
2. 左右の矢印キーを使用して、必要な列を[選択済み]リスト ボックスに追加し、不要な列をボックスから削除します。
また、[選択済み]リスト ボックス内のフィールドを選択し、上下の矢印キーを使用して、リスト ページ上の列の順序を変更することもできます。
3. [保存]をクリックします。

リスト ページの既定の設定を復元する方法

1. リスト ページを開き、[設定]をクリックします。
[ビューの設定]ウィンドウが表示されます。
2. [既定値の復元]をクリックします。

詳細ページ

詳細ページを開くには、リスト ページの[アクション]列の[表示]をクリックします。詳細ページから、以下の 1 つ以上のアクションを実行できます。

- リスト ページ項目のプロパティを読み取り専用状態で表示する。
- 他の CA Product Vision、CA Agile Vision または CA Idea Vision アイテムとの関連を追加する。たとえば、要件の詳細ページから、ユーザ ストーリー、子要件、およびロールを関連付けることができます。
- CA Idea Vision からインボックス アイテムをリンクする。
- メモの追加またはファイルの添付。
- [編集] ボタンをクリックして、表示している項目のプロパティを編集する。

関連付け用のリスト セクションが詳細ページに表示されます。各セクションを折りたたんだり、展開したりできます。詳細ページ上のセクションを展開または折りたたむと、ページを再度開いたときに直前の表示方法でページが表示されます。以下の図は、開いたセクションと閉じたセクションの両方を含む[要件]リスト ページを示しています。

ベストプラクティス: 長いリストを含むセクションがある詳細ページでは、セクションを折りたたんでおくと、詳細ページがより速く表示されます。



ユーザ ストーリー

要件

新規の子 すべて展開する すべて折

セクション名の隣にある矢印をクリックすると、セクションを展開または折りたたむことができます。

要件 ID	タイトル ▲
REQ-000003	Add New Features
REQ-000004	Render Designs for Manufacturing
REQ-000002	Test Beta Version

ルールの編集

以下のリストに、CA Product Vision で作業する場合の一般的なガイドラインを示します。

- 作成した任意の項目を編集または削除できます。
- 製品オーナーには、製品に関連付けられた任意の要件、リリース、フィーチャー、ソース、またはペルソナを編集する権限があります。

たとえば、ユーザが製品オーナーである場合、その製品に関連付けられた要件を編集できます。ユーザは要件の作成者または関連付けられたオーナーである必要はありません。

- 製品オーナーは、製品に関連付けられた要件、リリース、フィーチャー、ソース、またはペルソナを編集する作成者の権限を削除できます。
- フィーチャーは、製品のオーナーまたは作成者以外のオーナーを持つ場合があります。これらのオーナーにも、フィーチャーに関連付けられた任意の要件を編集する権限があります。

第 3 章: ビジネス計画

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ビジネス計画について \(P. 29\)](#)

[例: ペルソナおよびソースの作成 \(P. 29\)](#)

[ソースについて \(P. 30\)](#)

[ペルソナについて \(P. 34\)](#)

[製品ロードマップについて \(P. 36\)](#)

ビジネス計画について

CA Product Vision のビジネス計画は、顧客が誰であるかの識別に関するものであり、これによって、顧客が関心を寄せるビジネス ニーズおよび要件を理解することができます。[ビジネス計画]メニューに含まれるオプションによって、ペルソナおよびソースを識別し、それに関する情報を提供できます。要件をソースまたはペルソナに関連付けることによって、要件をリクエストしたユーザおよびその理由に関する重要な情報を保存できます。

例: ペルソナおよびソースの作成

John Wheeler は Forward 社の Net Worth の製品管理者です。John の責任は、この製品のリリースおよび機能要件が顧客のニーズを満たすことを保証することです。

John は、彼が計画している新製品の典型的な買い手が誰かを説明する市場調査を受け取ります。John は営業担当者から、現在の顧客である Miki Wireless Devices が、計画中の製品に関心を持っているとの電子メールを受け取ります。この顧客は、新規販売を確実にするよう、要件をオープンしています。

新製品に関して受け取った情報を失わないように、John は PCA Product Vision で以下のタスクを完了します。

- 典型的な購入者に関する市場調査情報を取得するために、John は購入者のペルソナを作成し、そのペルソナに *Charlie Smith* という名前を付けます。John は、そのペルソナがテレコム ハードウェア会社の最高技術責任者であることを示します。このペルソナを完了するために、John は、市場調査から製品ニーズ、課題ポイントおよび購買傾向に関する情報を追加します。

- 現在の顧客から情報を取得するために、John は、Miki Wireless Devices 社用に カスタマタイプ のソースを作成します。会社の所在地が日本であるので、John は地域セグメントとして *Japan* を選択します。John は、会社の連絡窓口に関する情報など、ソースの残りの情報を完了します。

John は、Miki Wireless Devices が新製品中リクエストした要件を作成します。CA Product Vision で要件を作成するとともに、John は、要件を要求者にリンクするためにソース Miki Wireless Devices を選択します。これで新規要件が開発サイクルを通過する際に、それらの新規要件を Miki Wireless Devices にトレースできるようになりました。

また、これらの要件がペルソナ Charlie Smith のプロフィールのニーズにも合致するので、John はこれらの要件をこのペルソナに関連付けます。ソースとペルソナを関連付けたので、John はすばやく要件を参照し、どのマーケット、顧客、およびペルソナが要件を評価しているかを知ることができます。製品スコープの変更により、スコープに含める要件の優先度付けが必要となった場合、この情報はきわめて重要になります。

ソースについて

ソースによって、要件をその起源までトレースできます。要件をリクエストしたソースの数、およびソースが誰かを知ることが、どれくらいのタイミングで要件を配布する必要があるかを判断するのに役立ちます。これは、製品のリリースのためにどの要件を実装するか決定する要因の 1 つです。

ソースによって、どの地理的またはマーケットのセグメントが関わっているかに関する情報が提供されます。CA Product Vision には、以下のソースタイプが用意されています。

- ビジネス ユニット。ビジネスの内部からの要件を識別します。
- 顧客。アクティブなまたは見込み顧客からの要件を識別します。
- 地域。1 つ以上の地勢に固有の要件を識別します。
- 業種。1 つ以上の業種に固有の要件を識別します。

提供される既定のフィールドが、収集して格納するソースの情報に適していないことがわかった場合は、ソースに対して追加のカスタム フィールド(属性)を定義できます。カスタム フィールドは、[管理]メニューから追加します。

詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

ソースの作成

ソースを作成して、要件の発信者、または要件が満たされることに関心を寄せている組織を記述します。ソースを作成すると、そのソースを編集して、完全な情報を追加できます。

ソースの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[ビジネス計画]メニューから[ソース]をクリックします。

[ソース]リスト ページが表示されます。

2. [新規ソース]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

ソース名

ソースの名前を指定します。

タイプ

ソースのタイプを指定します。タイプを選択して保存した後、そのタイプは変更できません。

値: ビジネス ユニット、顧客、地域、業種。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. ソースの詳細を編集して、ソースのすべての情報を完了します。

ソースの詳細の編集

要件のソースの詳細を編集できます。

次の手順に従ってください:

1. [ソース]リスト ページを開き、ソース名の隣の[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 以下のフィールドを完了または編集します。

ソース名

ソースの名前を指定します。

タイプ

ソースのタイプを指定します。タイプを選択して保存した後、そのタイプは変更できません。

値: ビジネス ユニット、顧客、地域、業種。

ステータス

ソースが潜在的なソース、アクティブ、非アクティブのどれであるかを指定します。

主要連絡先

情報に関して、ソースで連絡可能な担当者の名前を指定します。

主要連絡先の電子メール

主要連絡先の電子メール アドレスを指定します。

主要連絡先の電話番号

主要連絡先電話の電話番号を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

3. [顧客]セクションの以下のフィールドに入力します。

地域

ソースが表す地理的な領域を指定します。

現在までの収益

現在までに顧客から生成された収益を示します。

業種

ソースが属する市場セグメントを指定します。

予想収益

ソースから生成される可能性がある将来の収益を指定します。

4. [製品の詳細]セクションの以下のフィールドに入力します。

競合他社製品

ソースが関連付けられる競合他社製品を指定します。

要件

ソースが関連付けられる要件を指定します。ソースに複数の要件を関連付けることができます。

製品

ソースが適用される製品(複数可)を指定します。関連付ける複数の製品を選択できます。

ペルソナ

ソースに関連付けられるペルソナを指定します。ソースに複数のペルソナを関連付けることができます。

5. [マーケット情報]セクションの以下のフィールドに入力します。

マーケットの規模

ソースが表す市場の規模を指定します。

マーケットシェア

ソースの現在の市場占有率を指定します。

マーケットの成長性

ソースが関連付けられている市場セグメントの予想される成長性を指定します。

値: 高、中、低

6. [保存]をクリックします。

ソース表示モード

[ソースの詳細]ページには、表示可能なソースに関する情報が含まれています。ページを表示するには、[ソース]リスト ページ上でソースの[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザがソース オーナーである場合、[ソースの詳細]ページ上で[編集]をクリックして、ソースに変更を加えることができます。

[表示]モードで、以下の操作を実行できます。

- [ソースの新規要件の追加 \(P. 73\)](#)
- アイデアをソースとリンクします。

ペルソナについて

ペルソナは、実在の人物、または購入者、または製品購入の決定に影響を及ぼす人物を表わす人物の合成物である場合があります。ペルソナを要件に関連付けると、要件の完了を期待している人物、およびどのようして用件がその人物の無事ネスモデルに適合するのかに関する詳細情報が提供されます。ペルソナは、ビジネスニーズ、課題ポイントおよび購買慣習をなど要件が満たす問題に関する情報を提供できます。

ペルソナの作成

ペルソナを作成して、製品の購入に関する決定に影響を及ぼす可能性がある、組織内の人物、または人物の合成物を示します。ペルソナを作成すると、ペルソナの詳細を編集して、完全情報を追加できます。

ペルソナの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[ビジネス計画]メニューから[ペルソナ]をクリックします。

[ペルソナ]リスト ページが表示されます。

2. [新規ペルソナ]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

ペルソナ名

ペルソナの名前を指定します。

タイトル

ペルソナのタイトルを指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. ペルソナの詳細を編集して、ペルソナのすべての情報を完了します。

ペルソナの詳細の編集

ペルソナの詳細の編集方法

1. [ペルソナ]リスト ページを開き、ソース名の横の[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 以下のフィールドを完了または編集します。

ペルソナ名

ペルソナの名前を指定します。

年齢

ペルソナの年齢を指定します。

組織の規模

ペルソナが所属している組織の規模を指定します。

値: 小、中、大

影響者

ペルソナに影響を及ぼす他のペルソナを指定します。

タイトル

ペルソナのタイトルを指定します。

性別

ペルソナが男性か女性かを指定します。

タイプ

ペルソナが組織内でどのように行動するかを指定します。

値: ユーザ、購入者および影響力を持つ担当者

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

3. 以下の自由形式のテキスト セクションに詳細情報に記入して、ペルソナを完了します。
 - 問題
 - ニーズ
 - 課題
 - 購買傾向

- ゴール

ユーザがテキストを操作できるように、各テキスト セクションにはテキスト フォーマット バーがあります。

4. [保存]をクリックします。

ペルソナの詳細の表示

[ペルソナの詳細]ページには、ペルソナに関する表示専用の詳細情報が含まれています。

ペルソナの詳細の表示方法

1. [ペルソナ]リスト ページ上でペルソナの[アクション]列の[表示]をクリックします。
2. [ペルソナの詳細]ページから[編集]モードに変更するには、[編集]をクリックします。

製品ロードマップについて

製品ロードマップは、製品のリリース タイムラインを表示します。ロードマップは、高レベルビューと、リリースおよび要件へのドリルダウンを持つ、マスターリリースのビューを提供します。月次、四半期ごと、および年次のビューでは、要件とフィーチャーを提供するための短期的、長期的な実装計画を表示します。

ロードマップからは容易に製品、リリース、および要件詳細ページにリンクでき、そこからオブジェクトの表示、作成、編集、クローン、および削除が可能です。

はじめて製品ロードマップを開いた時は、最初の製品がアルファベット順に表示されます。ドロップダウンリストから製品を選択すると、次にロードマップを開いたときに、前回表示した製品が表示されます。

ロードマップ ナビゲーション

ロードマップでは、リリースの計画に役立つ複数のナビゲーションが選択できます。既定のビューでは、製品およびマスターリリースが折りたたまれた状態が表示され、現在の日付から開始します。現在の日付より前の日付にナビゲートすることができます。

ロードマップから、以下を行うことができます。

- ロードマップ用に製品名を指定

[製品]リストから名前を選択します。製品は、アルファベット順に一覧表示されます。

- 日付範囲によるズームインまたはズームアウト

[タイムフレーム]オプションから日付範囲を選択します。ズームオプションのタイムフレームは、月次、四半期ごと、または年次です。

- [ナビゲーション]矢印をクリックして水平にスクロールします。

二重矢印を使用すると、前後のページに移動できます。単一の矢印を使用すると、現在選択されているタイムフレームに基づいて、時間単位ごとにスクロールされます。異なるタイムフレームを変更すると、時間単位も変更されます。リリースまたは要件と関連付けられたフィーチャーを表示または非表示にします。

[フィーチャーの表示]または[フィーチャーを非表示]オプションをクリックします。

- マスタリリース、リリース、およびフィーチャー用のオブジェクトを展開するか折りたたみます。
- オブジェクトの横の下向きまたは上向きの矢印をクリックして、子オブジェクト(子リリースまたは要件)のビューを展開または折りたたみます。
- オブジェクトをクリックして、詳細ページを表示します。

ロードマップからのオブジェクト詳細ビュー

リリースなど、ロードマップ上のオブジェクトの高レベルの情報を表示したり、オブジェクト詳細ページを開くことができます。

高レベルの情報を表示するには、マウスポインタをオブジェクト上に移動します。オブジェクトのツールヒントが表示され、オブジェクトタイプに応じて、開始日と終了日、関連付けられたマスタリリース、または製品が表示されます。オブジェクトの詳細ページを開くには、[その他]をクリックします。

ロードマップエリアのリリースまたは要件オブジェクトをクリックして、詳細ページを表示します。オブジェクトの詳細ページが[表示]モードで表示されます。

たとえば、ロードマップ内に「リリース 1」というリリースを持つ場合、緑のバー「リリース 1」の上にマウスを移動させると、リリース情報が表示されます。リリースをクリックして、詳細ページまでドリルダウンします。

マスターリリース、リリース、およびフィーチャーの詳細を参照するには、表示されたネストオブジェクトの下向き矢印をクリックします。オブジェクトをより高レベルのオブジェクトに関連付けている場合、たとえば、リリースをマスターリリースに関連付けている場合などは、より高レベルのオブジェクトを展開して、関連付けられたツールヒントと詳細ページへのリンクを使用してネストされたオブジェクトを参照します。

製品リリースに関連付けられた要件の表示

リリースにネストされた要件のリストを表示できます。

下向き矢印キーをクリックして、要件が関連付けられているマスターリリース、子リリース、またはフィーチャーを展開します。

注: 要件をフィーチャーに割り当てている場合、[フィーチャーの表示]オプションが選択されている必要があります。フィーチャーに割り当てられていない要件は、「割り当て解除済み」の下にネストされます。

ロードマップ表示オプションの設定

ロードマップオブジェクトの色オプションを設定して、オブジェクトのタイプを識別しやすくすることができます。

1. [設定]をクリックします。[設定]ポップアップウィンドウが表示されます。
2. オブジェクトの背景色と、マスターリリース、子リリース、フィーチャー、および要件のテキストの色を選択します。
3. 各オブジェクトタイプのバーとテキストの色を選択し、[保存]をクリックします。

マスターリリース

マスターリリース用に表示されるバーの色を指定します。

リリース

マスターリリース用に表示されるバーの色を指定します。

マスターリリーステキスト

マスターリリース用に表示されるテキストの色を指定します。

リリース テキスト

リリース用に表示されるテキストの色を指定します。

フィーチャー テキスト

フィーチャー用に表示されるテキストの色を指定します。

要件テキスト

要件用に表示されるテキストの色を指定します。

マスタリリースに関連付けられた製品の表示

マスタリリースに関連付けられている製品を参照できます。

ロードマップからマスタリリースオブジェクトの上にマウスを移動します。マスタリリースのツールヒントに、関連付けられた製品名が表示されます。

第 4 章：製品セットアップ

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[製品について \(P. 41\)](#)

[リリースについて \(P. 46\)](#)

[フィーチャーについて \(P. 52\)](#)

[計画値と実績値について \(P. 57\)](#)

製品について

製品作成時に、将来の参照用に製品の詳細図を作成します。財源、顧客、競合製品、地域のマーケットセグメント、業種のマーケットセグメントおよびフィーチャーに関する情報を含めることができます。また、製品の長所、短所、案件、脅威および解決済みの問題などに関する詳細情報も含まれます。

製品の作成

製品の作成後、製品の詳細を編集して、製品のすべての面に関する完全情報を追加します。

製品の作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[製品]をクリックします。

[製品]リスト ページが表示されます。

2. [新規製品]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

製品名

製品の名前を指定します。

製品プレフィクス

製品バックログを構成する CA Agile Vision ユーザストーリーを識別するプレフィックスを指定します。

アクティブ

製品がアクティブであり、CA Product Vision で追跡できることを指定します。

デフォルト: オン

ライフサイクル ステージ

製品の開発段階を指定します。

値: コンセプト、開発中、導入済み、成長、成熟、衰退、販売終了

製品説明

製品の説明文を提供します。

計画コスト

製品に予定されているコストを指定します。

実際コスト

現在までの製品の実際のコストを指定します。

計画工数

製品を完成させるための見積もり工数を労働時間単位で指定します。

実工数

現在までに製品の完成に費やされた実際の工数を指定します。

製品オーナー

製品の所有者(複数可)の名前を指定します。

4. 以下アクションのいずれかを完了します。
 - [保存]をクリックして製品を保存し、製品の詳細を編集します。
 - [保存して新規作成]をクリックして製品を保存し、新製品を作成します。

製品の詳細の編集

製品の詳細の編集方法

1. 製品リストを開き、製品の[アクション]列で[編集]をクリックします。

- 必要に応じて、製品の[編集]ページで、以下のフィールドを完了または編集します。

製品名

製品の名前を指定します。

製品プレフィクス

製品バックログを構成する CA Agile Vision ユーザストーリーを識別するプレフィックスを指定します。

製品説明

製品の説明文を提供します。

アクティブ

製品がアクティブであり、CA Product Vision で追跡できることを指定します。

デフォルト: オン

ライフサイクル ステージ

製品の開発段階を指定します。

値: コンセプト、開発中、導入済み、成長、成熟、衰退、販売終了

競合他社

製品が自社の製品ではなく、競合他社の製品であることを指定します。

計画収益

製品から期待される収益を指定します。

実際収益

現在までに製品から取得された収益を指定します。

計画コスト

製品に予定されているコストを指定します。

実際コスト

現在までの製品の実際のコストを指定します。

計画工数

要件を満たすために必要な見積もり工数を指定します。

実工数

現在までに製品の完成に費やされた実際の工数を指定します。

3. 複数値選択ボックスで、以下に関して、製品に関連付ける値を選択します。
 - ペルソナ
 - フィーチャー
 - 競合製品
 - 地域のマーケット セグメント
 - 業種のマーケット セグメント
 - 顧客
4. 以下に関する詳細な製品情報に記入して、自由形式のテキスト セクションを完了します。
 - 長所
 - 短所
 - 案件
 - 脅威
 - 解決済みの問題各テキストボックスに 32,000 文字まで入力できます。
5. [保存]をクリックします。

製品の詳細の表示

[製品の詳細]ページには、表示可能な製品に関する情報が含まれています。ページを表示するには、[製品]リスト ページ上で製品の[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザが製品の所有者である場合、[製品の詳細]ページ上で[編集]をクリックして、製品に変更を加えることができます。

[製品の詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- [製品的所有者の変更](#) (P. 45)
- [リリースまたは要件の作成](#) (P. 45)
- [スクラムチームの作成](#) (P. 94)

製品オーナーの変更

製品を作成したユーザが、デフォルトで製品のオーナーになります。しかし、製品の所有権の別のユーザへの変更、またはオーナーの追加を行うことができます。新しいオーナーは、製品詳細に変更を加える権限を取得します。

製品の現在のオーナーまたは作成者のみが、製品の詳細に変更を加えることができます。

製品オーナーの変更方法

1. 製品リストを開き、製品の行の[アクション]列で[表示]をクリックします。
2. [オーナー]フィールドの横にある[変更]をクリックします。
ページが表示され、そこで新しいオーナーを選択できます。

競合製品を定義する方法

競合製品の定義は、会社の製品を定義するのと同じ方法で行います。製品が競合製品としてマークされると、その製品は、会社の製品のいずれかに関連付け可能な競合製品として選択可能になります。

以下のプロセスは、競争製品の定義を作成する方法を示しています。

1. [製品を作成します](#) (P. 41)。
2. [製品詳細を編集します](#) (P. 42)。

[製品の編集] ページで[競合他社] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

製品のリリースまたは要件の作成

[製品詳細] ページから、リリースまたは要件を作成できます。リリースまたは要件は、製品に自動的に関連付けられます。

次の手順に従ってください:

1. [製品] ページを開き、製品メニューの[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細] ページが表示されます。

2. 以下のいずれかを実行します。
 - [要件]セクションで[新規要件]をクリックします。
 - [リリース]セクションで[新規リリース]をクリックします。

リリースについて

CA Product Vision には、以下のリリースタイプがあります。

- 製品リリース

このリリースタイプは、製品の更新または変更を示し、そのため、単一の製品と関連付ける必要があります。CA Agile Vision も使用している場合は、作成したリリースが CA Agile Vision にも表示されます。

- マスタリリース

このリリースタイプは、複数の製品とそのリリースに関連付けることができます。製品リリースをマスタリリースに割り当てると、リリース内のすべてのユーザストーリーと要件が自動的にマスタリリースに割り当てられます。

すべてのユーザストーリーおよび要件をマスタリリースに割り当てたくない場合、製品がマスタリリースに関連付けられていれば、個別のユーザストーリーまたは要件を関連付けることができます。

注: マスタリリースの詳細(マスタリリースの作成方法を含む)については、「管理ガイド」を参照してください。

製品リリースの作成

リリースの作成後、リリースの詳細を編集して、リリースのすべての面に関する完全情報を追加します。

リリースの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[リリース]をクリックします。
[リリース]リスト ページが表示されます。
2. [新規リリース]をクリックします。

- 以下のフィールドに入力します。

リリース名

リリースの名前を指定します。

製品

リリースが関連付けられる製品を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

開始日

リリース工数が始まる日付を指定します。

リリース日

リリース工数が完了する日付を指定します。

アクティブ

CA Product Vision でリリースがアクティブであり、作業可能かつ追跡可能であることを指定します。

デフォルト: オン

ターゲットコスト

リリースの合計計画コストが定義されます。この値は CA Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と CA Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、CA Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 CA Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

リリースの合計計画工数を時間単位で定義します。この値は CA Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と CA Product Vision が統合されている場合、計画工数の情報は CA Clarity PPM から取得され、CA Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 CA Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

4. 以下アクションのいずれかを完了します。
 - [保存]をクリックしてリリースを保存し、リリースの詳細を編集します。
 - [保存して新規作成]をクリックしてリリースを保存し、別のリリースを作成します。

製品リリースの詳細の編集

製品のリリースの詳細を編集できます。

リリースの詳細の編集方法

1. [リリース]リスト ページを開き、編集するリリースの[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 必要に応じて、リリースの[編集]ページで、以下のフィールドを完了または編集します。

リリース名

リリースの名前を指定します。

開始日

リリース工数が始まる日付を指定します。

アクティブ

CA Product Vision でリリースがアクティブであり、作業可能かつ追跡可能であることを指定します。

デフォルト: オン

製品

リリースが関連付けられる製品を指定します。

リリース日

リリース工数が完了する日付を指定します。

マスターリリース

このリリースに関連付けるマスターリリースを指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

ターゲット コスト

リリースの合計計画コストが定義されます。この値は CA Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と CA Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、CA Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 CA Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

リリースの合計計画工数を時間単位で定義します。この値は CA Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と CA Product Vision が統合されている場合、計画工数の情報は CA Clarity PPM から取得され、CA Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 CA Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

計画コスト

リリースの計画コストを表示します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の計画コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

計画工数

リリースの計画工数を労働時間単位で指定します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の計画工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実際コスト

リリースの実際コストを表示します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の実際コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実工数

リリースに対して請求された実工数を労働時間単位で表示します。この情報は、リリースに関連付けられた要件の実工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

残存コスト

残存する計画コストを表示します。この情報は読み取り専用です。

残存工数

リリースに残存する計画工数を表示します。この情報は読み取り専用です。

ターゲットコスト vs 計画コスト

ターゲットコストと計画コストの差を表示します。このフィールドを使用して、CA Product Vision に入力された元のターゲット見積りの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

ターゲット工数 vs 計画工数

ターゲット工数と計画工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。このフィールドを使用して、CA Product Vision に入力された元のターゲット見積りの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

計画コスト vs 実際コスト

計画コストと実際コストの差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

計画工数 vs 実際工数

計画工数と実工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

3. [保存]をクリックします。

製品リリースの詳細の表示

[リリースの詳細]ページには、表示可能なリリースに関する情報が含まれています。ページを表示するには、[リリース]リスト ページ上でリリースの[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザがリリースの所有者または関連する製品の所有者である場合、ページ上で[編集]をクリックし、リリースに変更を加えることができます。

[リリースの詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- [要件の作成](#) (P. 73)
- [スプリントの作成](#) (P. 92)
- [ベースラインの作成](#) (P. 51)

製品リリースとマスターリリースの関連付け

リリースをマスターリリースに関連付ける方法

1. [リリース]リスト ページを開き、マスターリリースに関連付けるリリースの[アクション]列で[編集]をクリックします。
リリースの編集ページが表示されます。
2. [マスターリリース]フィールドで、マスターリリースを選択します。
3. [保存]をクリックします。

製品リリースのベースラインの設定

ベースラインは、特定の時点における、リリースの要件のスナップショットです。ベースラインは静的です。また、ベースラインの作成後に加えられた変更は現在のベースラインに自動的に表示されません。

別のベースラインを作成して、新規に作成または変更された要件を含めることができます。

リリースのベースラインの作成方法

1. [リリース]リスト ページを開き、リリースの行上の[アクション]列で[表示]をクリックします。
[リリースの詳細]ページが表示されます。
2. [ベースライン]セクションで、[新規ベースライン]をクリックします。

リリース ベースラインの比較

リリースの要件に複数のベースラインがある場合、2つのベースラインを比較することができます。

リリース ベースラインの比較方法

1. [リリース]リスト ページを開き、リリースの行上の[アクション]列で[表示]をクリックします。
[リリースの詳細]ページが表示されます。
2. [要件]セクションで比較する2つのベースラインを強調表示し、[ベースラインの比較]をクリックします。

フィーチャーについて

フィーチャーを作成するときは、フィーチャーを単一の製品に関連付ける必要があります。1つのフィーチャーを複数の要件にリンクすることもできます。また、フィーチャーレベルにロールアップされたフィーチャーの要件に関する計画情報と実績情報を表示できます。

フィーチャーの作成

フィーチャーの作成後、フィーチャーの詳細を編集して、フィーチャーのすべての面に関する完全情報を追加します。

フィーチャーの作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[フィーチャー]をクリックします。

[フィーチャー]リスト ページが表示されます。

2. [新規フィーチャー]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

フィーチャー名

フィーチャーの名前を指定します。

製品

フィーチャーが関連付けられる製品を指定します。

ターゲット コスト

フィーチャーの合計計画コストを定義します。これは CA Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と CA Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、CA Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 CA Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

フィーチャーの合計計画工数を時間単位で定義します。これは CA Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と CA Product Vision が統合されている場合、計画工数の情報は CA Clarity PPM から取得され、CA Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 CA Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. フィーチャーの詳細を編集して、フィーチャーのすべての情報を完了します。

フィーチャーの詳細の編集

名前、コスト、工数など、特定のフィーチャーの詳細を編集できます。

フィーチャーの詳細の編集方法

1. [フィーチャー]リスト ページを開き、編集するフィーチャーの[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. 以下のフィールドに入力します。

フィーチャー名

フィーチャーの名前を指定します。

製品

フィーチャーが関連付けられる製品を指定します。

ターゲットコスト

フィーチャーの合計計画コストを定義します。これは CA Product Vision 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。CA Clarity PPM と CA Product Vision が統合されている場合、計画コストの情報は CA Clarity PPM から取得され、CA Product Vision 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 CA Product Vision を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

フィーチャーの合計計画工数を時間単位で定義します。これは **CA Product Vision** 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。**CA Clarity PPM** と **CA Product Vision** が統合されている場合、計画工数の情報は **CA Clarity PPM** から取得され、**CA Product Vision** 内で読み取り専用になります。このフィールドは、直接 **CA Product Vision** を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

計画コスト

フィーチャーの計画コストを表示します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の計画コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

計画工数

フィーチャーの計画工数を労働時間単位で指定します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の計画工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実際コスト

フィーチャーの実際コストを表示します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の実際コスト データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

実工数

フィーチャーに対して請求された実工数を労働時間単位で表示します。この情報は、フィーチャーに関連付けられた要件の実工数データからロールアップされます。この情報は読み取り専用です。

残存コスト

残存する計画コストを表示します。この情報は読み取り専用です。

残存工数

フィーチャーに残存する計画工数を表示します。この情報は読み取り専用です。

ターゲット コスト vs 計画コスト

ターゲット コストと計画コストの差を表示します。このフィールドを使用して、**CA Product Vision** に入力された元のターゲット見積もりの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

ターゲット工数 vs 計画工数

ターゲット工数と計画工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。このフィールドを使用して、CA Product Vision に入力された元のターゲット見積りの有効性を判定します。このフィールドは読み取り専用です。

計画コスト vs 実際コスト

計画コストと実際コストの差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

計画工数 vs 実際工数

計画工数と実工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

フィーチャー オーナー

フィーチャーの所有者の名前を指定します。複数の所有者を選択できます。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

3. [保存して終了]をクリックします。

機能の詳細の表示

[フィーチャーの詳細]ページには、表示可能な個別のフィーチャーに関する情報が含まれています。ページを表示するには、[フィーチャー]リスト ページ上でフィーチャーの[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザがフィーチャーまたは関連する製品のオーナーである場合、ページ上で[編集]をクリックして、フィーチャーの値を変更することができます。

[フィーチャーの詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- [要件の作成](#) (P. 73)
- [メモのフィーチャーへの追加](#) (P. 56)
- [添付ファイルのフィーチャーへの追加](#) (P. 56)

メモのフィーチャーへの追加

メモをフィーチャーへ追加する方法

1. [フィーチャー]リスト ページを開き、フィーチャーの[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
2. [メモと添付ファイル]セクションで、[新規メモ]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

プライベート

選択時に、作成者のみメモの表示および編集が可能なことを指定します。

既定値: クリア済み

タイトル

メモの名前を指定します。

本文

メモのコンテンツを指定します。

4. [保存]をクリックします。

添付ファイルのフィーチャーへの追加

添付ファイルをフィーチャーへ追加する方法

1. [フィーチャー]リスト ページを開き、フィーチャーの[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
2. [メモと添付ファイル]セクションで、[添付ファイル]をクリックします。
3. 表示されるページの指示に従って、ファイルを添付します。

フィーチャー階層の表示

[フィーチャー階層]ビューで、各フィーチャーに属する要件を表示できます。

フィーチャー階層の表示方法

1. [フィーチャー]リスト ページを開きます。
2. リスト ページの一番上の[表示]フィールドで、[フィーチャー階層]を選択します。

フィーチャーのリストが表示されます。要件が関連付けられたフィーチャーには、リスト内でそれぞれフィーチャー名の左側に 3 角形が表示されます。

3. リスト内で 3 角形をクリックすると、フィーチャーに関連付けられた要件が表示されます。

計画値と実績値について

製品、リリース、またはフィーチャーの計画値と実績値を表示できます。リストページおよび個々の詳細ページに以下の値が表示されます。

- 計画コスト
- 実際コスト
- 計画コスト vs 実際コスト
- 計画工数
- 実工数
- 計画工数 vs 実際工数

これらの情報は、製品、リリース、またはフィーチャーに関連付けられた要件に関して存在する計画値と実績値から集計されます。集計された値は、読み取り専用で編集できません。

第 5 章：要件の管理

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[要件について](#) (P. 60)

[例：複数リリースにまたがるフィーチャー要件の計画](#) (P. 60)

[要件の作成](#) (P. 61)

[要件の詳細の編集](#) (P. 62)

[要件の詳細の表示](#) (P. 65)

[要件階層](#) (P. 66)

[要件と製品リリースの関連付け](#) (P. 71)

[要件とマスターリリースの関連付け](#) (P. 72)

[要件とフィーチャーの関連付け](#) (P. 72)

[製品、リリースまたはフィーチャーの要件の作成](#) (P. 73)

[ソースの要件の作成](#) (P. 73)

[既存要件の製品とのリンク](#) (P. 74)

[要件のマージ](#) (P. 74)

[要件の削除](#) (P. 75)

[要件リストの表示および管理](#) (P. 76)

[要件のリソースと工数を見積もる方法](#) (P. 78)

[メモの要件への添付](#) (P. 79)

[添付ファイルの要件への追加](#) (P. 80)

[チャートとレポートを使用した要件の追跡](#) (P. 80)

要件について

CA Product Vision では、以下の方法のいずれかを使用して要件を入力できます。

- [計画の詳細]メニュー上の[要件]リンクをクリックし、[新規要件]をクリックします。
- 製品、ソース、リリース、またはフィーチャーを[表示]モードで開き、[要件]セクションで[新規要件]をクリックします。

作成する要件は、[要件]リスト ページにリスト表示されます。要件をフィルタし並べ替えて、目的の情報のみをリスト表示することができます。

特定の製品の要件を参照するには、リスト ページの [アクション]列で[表示]をクリックして、製品の詳細ページを開きます。製品に関連付けられたすべての要件が、詳細ページの[要件]セクションにリスト表示されます。また、要件を[表示]モードで開き、[要件]セクション内を参照して、リリースまたはフィーチャーの要件を表示することもできます。

例：複数リリースにまたがるフィーチャー要件の計画

Mark Wilson は既存の Forward 社の旗艦製品のオーナーです。Mark は、品質が良く、売上に貢献している成熟したソフトウェア アプリケーション製品を所有しています。ただし、この製品には、競合製品の最近の進歩に遅れないように、リビジョンが必要です。

Mark は、販売、サポートおよびマーケティングによって CA Product Vision に入力された要件のリストを持っています。彼は、来年度の複数のリリースに関する要件を管理しています。CA Product Vision を使用して、要件を管理するために、Mark は以下の手順に従います。

- 実装する製品フィーチャーを決定し、CA Product Vision でフィーチャーを作成します。

Mark は現在の要件を検討し、実装すべきフィーチャーとその順序を決定します。一部の要件は 1 つのフィーチャーへグループ化できます。Mark は、6 つの製品フィーチャー（フィーチャー A、B、C、D、E、F）が必要であると決定します。また彼は、フィーチャー A の要件のすべてを 1 つのリリースで実装できず、複数のリリースに分散させる必要があると判断します。

- 必要なリリース数を決定し、CA Product Vision でそれらのリリースを作成します。

Mark は、リストしたフィーチャーおよび要件を実装するには、3 つのリリースが必要であると決定します。それらのリリースは Spring 2011、Summer 2011 および Winter 2011 です。

- 要件をフィーチャーへ割り当てます。

Mark は、要件リストビューから 72 の要件を 6 つのフィーチャーに割り当てます。

- フィーチャー A の要件を複数のリリースにわたって割り当てます。

Mark は、以下の要件をフィーチャー A から個別のリリースに割り当てます：Spring 2011 リリースに 5 つ、Summer 2011 リリースに 7 つ、および Winter 2011 リリースに 3 つ。要件リスト ページから、要件をハイライトして[リリースに割り当て]をクリックし、割り当てを実行します。

要件の作成

要件の作成後、要件の詳細を編集して、要件のすべての局面に関する完全な情報を追加します。

要件の作成方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[計画の詳細]メニューから[要件]をクリックします。

[要件]リスト ページが表示されます。

2. [新規]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

タイトル

要件の名前を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

カテゴリ

ユーザの会社で定義されている要件の分類方法を指定します。ドロップダウンリストからオプションを 1 つ選択します。

複雑度

要件の完了に関して、予測される困難の度合いを指定します。

値: 高、中、低

計画コスト

要件の見積費用を指定します。

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

優先度

要件が他の要件よりも優先されることを指定します。

値: 非常に高い、高、中、低、非常に低い、非優先

製品

要件が適用される製品(複数可)を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. 要件の詳細を編集して、要件の完全情報を完了します。

要件の詳細の編集

要件の詳細の編集方法

1. [要件]リスト ページを開き、編集する要件の[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. [要件の編集] ページで、必要に応じて、以下のフィールドを完了または編集します。

タイトル

要件の名前を指定します。

親要件

現在の要件の親である要件を指定します。このフィールドは子要件にのみ適用されます。

財務的メリット

要件によって提供される可能性のある潜在的利益の規模を指定します。

計画コスト

要件の計画コストを指定します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

計画工数

要件の計画工数を労働時間単位で指定します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

実際コスト

要件の実際コストを表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

実工数

要件に対して請求された実工数を労働時間単位で表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

残存コスト

残存する計画コストを表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。

残存工数

残存する計画工数を表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。

計画コスト vs 実際コスト

計画コストと実際コストの差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

計画工数 vs 実際工数

計画工数と実工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

複雑度

要件の完了に関して、予測される困難の度合いを指定します。

値: 高、中、低

信頼度レベル

組織の要件の理解および組織の要件提供能力に対してオーナーが持っている信頼度のレベルを指定します。

値: 高、中、低

優先度

要件が他の要件よりも優先されることを指定します。

値: 非常に高い、高、中、低、非常に低い、非優先

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

アクティブ

要件がアクティブで、リリースとフィーチャーに割り当てることができることを指定します。非アクティブ要件は、リストビューまたは階層ビューには表示されません。

デフォルト: オン

カテゴリ

ユーザの会社で定義されている要件の分類方法を指定します。ドロップダウンリストからオプションを 1 つ選択します。

製品

要件が適用される製品 (複数可) を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

フィーチャー

要件が割り当てられるフィーチャーを指定します。

リリース

要件が割り当てられるリリースを指定します。要件を複数のリリースに割り当てることができます。

要件オーナー :

要件の所有者(複数可)の名前を指定します。

ソース

要件に関連付けられるソースを指定します。要件を複数のソースに割り当てることができます。

ペルソナ

要件に関連付けられるペルソナを指定します。要件に複数のペルソナを関連付けることができます。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

問題

要件が対処または解決する問題を指定します。

3. [保存]をクリックします。
4. [リストに戻る]をクリックします。

要件の詳細の表示

[要件の詳細]ページには、表示可能な要件に関する情報が含まれています。ページを表示するには、[要件]リスト ページ上で要件の[アクション]列の[表示]をクリックします。

ユーザが要件または関連する製品またはフィーチャーのオーナーである場合、ページ上で[編集]をクリックできます。要件を変更することもできます。

[要件の詳細]ページの[表示]モードで、以下を実行できます。

- [子要件の追加](#) (P. 67)
 - [ユーザストーリーの作成 \(CA Agile Vision と併用する場合\)](#) (P. 97)
 - 既存のユーザストーリーの追加
 - 既存のエピックの作成または追加
- CA Agile Vision オンライン ヘルプを参照してください。
- [メモの追加](#) (P. 79)
 - [添付ファイルの追加](#) (P. 80)

要件階層

要件を、ビジネス要件に適するより小さな子要件に分割することができます。親、子および孫の要件階層を作成できます。階層内で作成できるレベルの数に制限はありません。

階層作成の結果を参照するには、[要件階層]ページを表示します。このページは、[詳細計画]メニューで[要件]をクリックし、次に、[表示]フィールドで[要件階層]を選択して、利用できます。

例：階層内の要件の定義

Carol Martinez は、Forward 社のビジネスアナリストです。彼女は、マーケティングからビジネス解析システムに関する、一連の高レベルのビジネス要件を取得します。Carol は CA Product Vision に高レベル要件を入力します。入力された要件はリストビューに表示されます。

マーケティングからの高レベル要件は、システム変更を行うために IT 部門が使用できる、扱いやすいワークユニットへは分割されません。Carol は、現在のシステムで必要な特定のフィーチャーおよび変更が記述された、より小さな子要件へ高レベル要件を分割する必要があります。

Carol は、高レベル要件のためのビジネス要件のカテゴリを選択します。その後、各高レベル要件の下の子要件用の技術要件のカテゴリを選択します。システム管理者は、Forward 社のニーズを満たすために要件カテゴリを設定しました。Carol は、親と子の様々なカテゴリを選択することによって、リストページ上でカテゴリによる要件のソートが可能です。また、カテゴリ別の要件を印刷できます。

また、各要件はソースとして Forward 社のマーケティング部に関連付けられます。これにより、マーケティング部員はマーケティング ソースからの要件を表示し、要件が満たされていることを確認できます。

Carol は、高レベル要件を基本要件に分割するには複数のレベルが必要だと認識します。基本要件レベルに到達するまで、適切な子要件の下に子を作成します。結果として、5 レベルの子要件を持つ要件ツリーができます。その後、IT 部門は、現在のシステムを使用して要件を達成できるかどうか評価します。

子要件の作成

要件の作成後、要件の詳細を編集して、要件のすべての局面に関する完全な情報を追加します。

子要件の作成方法

1. 要件リストを表示し、親になる要件を強調表示して、[新規子要件]をクリックします。
2. 以下のフィールドに入力します。

タイトル

要件の名前を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

カテゴリ

ユーザの会社で定義されている要件の分類方法を指定します。ドロップダウンリストからオプションを 1 つ選択します。

複雑度

要件の完了に関して、予測される困難の度合いを指定します。

値: 高、中、低

計画コスト

要件の見積費用を指定します。

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

優先度

要件が他の要件よりも優先されることを指定します。

値: 非常に高い、高、中、低、非常に低い、非優先

親要件

子要件の親要件を指定します。

製品

子要件が適用される製品(複数可)を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

3. [保存して終了]をクリックします。
4. 要件の詳細を編集して、要件の完全情報を完了します。

子要件の詳細の編集

子要件の詳細を編集または追加する方法

1. [要件]リスト ページを開き、編集する子要件の[アクション]列で[編集]をクリックします。
2. [要件の編集]ページで、必要に応じて、以下のフィールドを完了または編集します。

タイトル

要件の名前を指定します。

財務的メリット

要件によって提供される可能性のある潜在的利益の規模を指定します。

計画コスト

要件の計画コストを指定します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

計画工数

要件の計画工数を労働時間単位で指定します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

実際コスト

要件の実際コストを表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

実工数

要件に対して請求された実工数を労働時間単位で表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。CA Clarity PPM と統合されている場合、手動の編集結果は上書きされます。

残存コスト

残存する計画コストを表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。

残存工数

残存する計画工数を表示します。CA Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合、このデータは CA Clarity PPM から取得され、読み取り専用になります。

計画コスト vs 実際コスト

計画コストと実際コストの差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

計画工数 vs 実際工数

計画工数と実工数の差を表示します。このフィールドは読み取り専用です。

複雑度

要件の完了に関して、予測される困難の度合いを指定します。

値: 高、中、低

優先度

要件が他の要件よりも優先されることを指定します。

値: 非常に高い、高、中、低、非常に低い、非優先

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

労働コスト予想

要件の見積もり労務費を指定します。

計画コスト

要件の見積費用を指定します。

信頼度レベル

組織の要件の理解および組織の要件提供能力に対してオーナーが持っている信頼度のレベルを指定します。

値: 高、中、低

カテゴリ

ユーザの会社で定義されている要件の分類方法を指定します。ドロップダウンリストからオプションを 1 つ選択します。

親要件

現在の要件の親である要件を指定します。このフィールドは子要件にのみ適用されます。

アクティブ

要件がアクティブで、リリースとフィーチャーに割り当てることができることを指定します。非アクティブ要件は、リストビューまたは階層ビューには表示されません。

デフォルト: オン

製品

要件が適用される製品 (複数可) を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

フィーチャー

要件が割り当てられるフィーチャーを指定します。

リリース

要件が割り当てられるリリースを指定します。要件を複数のリリースに割り当てることができます。

ソース

要件に関連付けられるソースを指定します。要件を複数のソースに割り当てることができます。

要件オーナー :

要件の所有者(複数可)の名前を指定します。

ペルソナ

要件に関連付けられるペルソナを指定します。要件に複数のペルソナを関連付けることができます。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

問題

要件が対処または解決する問題を指定します。

3. [保存]をクリックします。
4. [リストに戻る]をクリックします。

要件と製品リリースの関連付け

この手順では、[要件]リスト ページから要件を関連付ける方法について説明します。

要件の割り当て方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に割り当てる要件(複数可)を強調表示して、[リリースに割り当て]をクリックします。

要件に関連付けられた製品の関連付けられたリリースが表示された、リリース選択ウィンドウが表示されます。

2. 割り当てる適切なリリース(複数可)を選択して、[追加]をクリックします。

要件は選択されたリリースに追加されます。確認するには、選択されたりリリースの 1 つを[表示]モードで開き、[要件]セクションを確認します。

要件とマスタリリースの関連付け

要件をマスタリリースに関連付ける方法

1. [要件]リスト ページを開き、マスタリリースに関連付ける要件の[アクション]列で[編集]をクリックします。

要件の編集ページが表示されます。

2. [マスタリリース]フィールドで、マスタリリースを選択します。
3. [保存]をクリックします。

要件とフィーチャーの関連付け

この手順では、要件を[要件]リスト ページからフィーチャーに関連付ける方法について説明します。要件を割り当てることができるのは、製品の 1 つのフィーチャーに対してのみです。

要件をフィーチャーに関連付ける方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に割り当てる要件(複数可)を強調表示して、[フィーチャーに割り当て]をクリックします。

要件に関連付けられた製品の関連付けられたフィーチャーが表示された、フィーチャー選択ウィンドウが表示されます。

2. 割り当てる適切なフィーチャー(複数可)を選択して、[追加]をクリックします。

フィーチャーは選択されたフィーチャーに追加されます。確認するには、選択されたフィーチャーの 1 つを[表示]モードで開き、[要件]セクションを確認します。

製品、リリースまたはフィーチャーの要件の作成

[製品詳細]、[リリースの詳細]または[フィーチャーの詳細]ページから要件または子要件を作成できます。

要件を作成するには、以下の手順に従います。

1. [製品詳細]、[リリースの詳細]または[フィーチャーの詳細]ページを開きます。
これを行うには、[計画の詳細]メニュー上の[製品]、[リリース]または[フィーチャー]をクリックします。
リストページが表示されます。
2. 特定の製品、リリースまたはフィーチャーの[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
3. [要件]セクションまでスクロールし、[新規]または[新規の子]をクリックします。

ソースの要件の作成

[ソースの詳細]ページから、要件または子要件を作成できます。このページから作成するいずれの要件も、ソースに自動的に関連付けられます。

[ソースの詳細]ページから要件を作成する方法

1. [ソースの詳細]ページを開きます。
これを行うには、Product Vision メニューの[ビジネス計画]の下の[ソース]をクリックします。
リストページが表示されます。
2. リスト内の目的のソースの[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
3. [要件]セクションまでスクロールし、[新規]または[新規の子]をクリックします。

既存要件の製品とのリンク

既存の要件を製品にリンク(関連付け)できます。

要件を製品にリンクする方法

1. [製品]リスト ページを開き、製品の[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
2. [要件]セクションで、[要件のリンク]をクリックします。
使用可能な要件のリストが表示されます。
3. 製品にリンクする要件を選択して、[追加]をクリックします。

要件のマージ

2つ以上の要件を1つの要件にマージできます。要件をマージする際に、要件の1つをマスタとして選択する必要があります。マージされる残りの要件は、[マスタ要件]ページにのみリスト表示される非アクティブな子要件になります。

重要: いったん要件をマージすると、このアクションは元に戻せません。

以下のルールが要件のマージに適用されます。

- 親と子のリスト ボックス内の情報が、マスタの[要件詳細]ページに表示されます。
 - 製品
 - 製品オーナー
 - リリース
 - ペルソナ
 - ソース
 - フィーチャー
- 以下のフィールドはマージされません。しかし、要件が親であっても子であっても、情報は個々の要件に固有のままになります。
 - 要件 ID
 - 工数予想

- コスト予想
- 複雑度
- 優先度
- タイプ
- タイトル
- 財務的メリット
- テーマ
- 信頼度レベル
- カテゴリ
- 都道府県
- アクティブ

注: マスタ要件の[詳細]ページに表示される非アクティブな子要件を開いて表示できます。

要件のマージ方法

1. [Product Vision]メニューをクリックし、[計画の詳細]メニューから[要件]をクリックします。
[要件階層]ページが表示されます。
2. マージする要件を強調し、[マージ]をクリックします。
選択された要件がリスト表示された[マージ]ページが表示されます。
3. マスタ要件になる要件を強調表示し、[マージ]をクリックします。
マージされる要件が子要件としてリスト表示された、親の[詳細]ページが表示されます。

要件の削除

要件は以下の方法で削除できます。

- [要件]リスト ページから要件を削除すると、その要件と製品、リリース、フィーチャー、ソース、またはペルソナとの関連の数にかかわらず、CA Product Vision からその要件が削除されます。
- 製品、リリース、またはフィーチャーから要件を削除しても、要件は CA Product Vision から削除されません。

- 製品が要件の最後の製品関連付けである場合、製品から要件を削除することはできません。
- リリースまたはフィーチャーから要件を削除しても、関連付けられた製品から要件は削除されません。

CA Product Vision からの要件の削除

CA Product Vision から要件を削除する方法

1. [要件]リスト ページを開きます。
2. 削除する要件(複数可)を選択し、[削除]をクリックします。

製品、リリースまたはフィーチャーからの要件の削除

製品、リリースまたはフィーチャーからの要件の削除方法

1. 製品、リリース、またはフィーチャーの詳細ページを開きます。
2. [要件]セクションで、削除する要件を見つけて、その要件の隣の列で[削除]をクリックします。
3. [保存]をクリックします。

要件リストの表示および管理

[要件]リスト ページでは、3 つのリスト表示オプションを使用できます。

- すべてのレコード。このビューから、新しい要件またはビューを作成し、個別の要件を編集できます。
- 要件の階層。これがデフォルトのビューです。このビューを使用して、要件間の親子関係を参照および管理し、新規要件を作成します。
- トレーサビリティマトリクス。このビューを使用して、要件に関連付けられたユーザのケースを参照します。また、リンクをクリックして、関連するソースおよびペルソナ情報など要件に関する詳細情報を表示できます。

トレーサビリティマトリクスの表示

トレーサビリティマトリクスによって、要件の起源、および CA Agile Vision を通じて要件に関連付けられたユーザ ストーリーを参照できます。

次の手順に従ってください:

1. [要件]リスト ページが表示されます。
2. [表示]フィールドで、[トレーサビリティマトリクス]を選択します。
3. 以下のいずれかのリンクをクリックして、情報を取得します。
 - 要件名をクリックして、要件の詳細情報を参照します。要件には、要件を開始したソースまたはペルソナ、および、製品とリリースの情報が含まれます。
 - ユーザ ストーリー名をクリックして、CA Agile Vision でどのように要件が満たされるかに関する詳細情報を表示します。

フィルタ オプションを使用して、トレーサビリティマトリクス要件をフィルタできます。[フィルタの追加/編集]をクリックしてフィルタを作成し、条件を指定し、[フィルタ]をクリックして表示をフィルタします。

要件階層の表示

要件階層によって、どの要件が親と子として関連付けられているか素早く識別できます。リストに要件が、親別に順番に表示されます。子は親の下に表示されます。

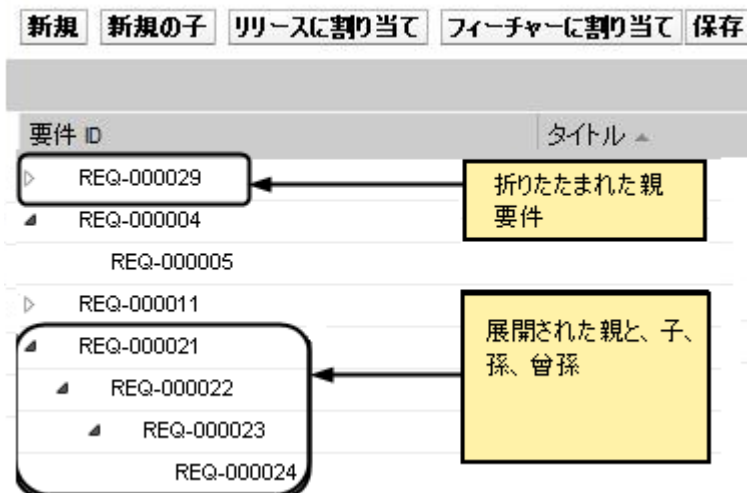
要件階層の表示方法

1. [要件]リスト ページが表示されます。
2. [表示]フィールドで、[要件履歴]を選択します。

[要件階層]リスト ページ上で、一部のフィールドを編集できます。編集するために、フィールド内でクリックします。フィールドが編集可能な場合、そのフィールドはアクティブ化され、編集することができます。

要件を右クリックすると表示されるメニューで、要件を表示、編集、削除、展開または折りたたむことができます。

灰色の矢印は、子が非表示になっている、折り畳まれた階層を示します。黒い矢印は、子がリスト表示された、展開された親を示します。以下の図では、展開された階層に4つのレベルがあります。階層内で作成できるレベルの数に制限はありません。



要件のリソースと工数を見積もる方法

要件には、複数のリソースロールを含めることができます。たとえば、開発要件にはマネージャロール、デザイナーロール、開発者ロール、および品質保証ロールが必要である可能性があります。リソースロールを要件に関連付けて、各ロールが要件を完了するのにかかる工数を見積もることができます。

CA Product Vision で選択できるロールを定義する方法の詳細については、「管理ガイド」を参照してください。

要件のリソースと工数を見積もるには、以下の作業を行う必要があります。

1. [要件のリソースロールを追加する](#) (P. 79)。
2. [要件のリソースロールの工数を予想する](#) (P. 79)。

要件のリソース ロールの追加

要件のリソース ロールを追加する方法

1. 要件リスト ページを開き、[表示]リストから[すべてのレコード]を選択します。
2. 要件をハイライトし、[表示]をクリックします。
要件の詳細ページが表示されます。
3. 詳細ページの[ロール]セクションで、[ロールの追加]をクリックします。
[ロールの選択]ウィンドウが表示されます。
4. 要件に追加するロールを選択し、[追加]をクリックします。
ロールが要件の[ロール]セクションのリストに表示されます。

要件のリソース ロールの工数見積もり

リソース ロールの工数を見積もる方法

1. [要件]リスト ページを開き、要件を強調表示して[表示]をクリックします。
要件の詳細ページが表示されます。
2. 詳細ページの[ロール]セクションでロールを見つけ、その行の[工数]列をクリックし、フルタイムの予想時間を入力します。
[工数]セルの左上に、変更が行われたのに保存されていないことを示す赤い矢印が表示されます。
3. [ロール]セクションの[保存]をクリックします。

メモの要件への添付

メモを要件へ添付する方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に、リストから要件を見つけて、[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
2. [メモと添付ファイル]セクションで、[新規メモ]をクリックします。

- 以下のフィールドに入力します。

プライベート

選択時に、作成者のみメモの表示および編集が可能であることを指定します。

既定値: クリア済み

タイトル

メモの名前を指定します。

本文

メモのコンテンツを指定します。

- [保存]をクリックします。

添付ファイルの要件への追加

添付ファイルの要件への追加方法

- [要件]リスト ページを開き、次に、リストから要件を見つけて、[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
- [メモと添付ファイル]セクションで、[添付ファイル]をクリックします。
- 表示されるページの指示に従って、ファイルを添付します。

チャートとレポートを使用した要件の追跡

事前定義済みのチャートおよびレポートを使用して、要件を追跡できます。これらのチャートは [Salesforce.com Vision Public Dashboard](#) で入手可能です。

次の手順に従ってください:

- CA Product Vision にログインし、ナビゲーション ツールバー内の[セットアップ]をクリックします。
- [ダッシュボード]タブをクリックします。

ダッシュボードが表示されます。CA Product Vision ダッシュボードが表示されない場合は、ダッシュボード タイトルの下の[ダッシュボードリストに移動]をクリックします。[ビジョンパブリック ダッシュボード]が表示されます。

3. [Product Vision ダッシュボード]選択します。

ダッシュボードが以下のグラフと共に表示されます。

- 要件 - 状態棒グラフ
- 要件 - 製品円グラフ
- 要件 - 平均年齢折れ線グラフ
- 要件 - リリース円グラフ
- 要件 - トレンド折れ線グラフ
- 要件 - ソース円グラフ

4. グラフの上でクリックして、レポート生成のオプションを表示します。

[次で情報を要約]- [リストの表示]から選択して、レポートの条件を変更することができます。また、時間範囲も指定できます。ダッシュボードの詳細については、[ページ ヘルプ](#)を参照してください。

ベスト プラクティス: レポートまたはチャートのカスタマイズを予定している場合は、他のユーザへの影響を避けるためにカスタム ダッシュボードおよびレポートを作成します。詳細については、[Salesforce.com ページ ヘルプ](#)を参照してください。

第 6 章: Chatter の使用

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Chatter について \(P. 83\)](#)

[フォローのオン/オフ切り替え \(P. 83\)](#)

[Chatter 情報の表示 \(P. 84\)](#)

Chatter について

Chatter を使用して、組織内の他のユーザとリアルタイムで通信し、情報を交換できます。Chatter では、以下の操作を実行できます。

- 自分の情報、フォローしているユーザのステータス更新、フォローしているレコードの更新、および自分がメンバになっているグループの更新の表示。
- メンバが更新をポストしたり、メンバ同士が非公開で通信したりできる Chatter グループの作成。
- ポストへの添付ファイルまたはリンクの追加。
- Chatter が有効になっているユーザまたはレコードをフォローするかどうかの決定。

Chatter の設定は変更できます。Chatter の使用方法の詳細については、[Salesforce.com](#) の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。このマニュアルは、[セットアップ]リンクをクリックして[個人設定]を表示して利用できます。次に、[ヘルプ]リンクをクリックします。

フォローのオン/オフ切り替え

Chatter を使用して、以下の CA Agile Vision または CA Product Vision 項目に関する情報をフォローできます。

- 製品
- リリース
- 要件
- フィーチャー

- ソース
- ユーザストーリー
- タスク
- 問題

自分が作成した **CA Agile Vision** または **CA Product Vision** 項目のフォローは、既定でオンになっています。

自分が項目の作成者でない場合、フォローはアクティブ化されませんが、手動でフォローをアクティブ化できます。

項目がフォローされているかどうかは、リスト ページの [フォロー] 列で確認できます。

Chatter フォローのオン/オフを切り替える方法

1. 適切なリスト ページを開き、リスト内の特定の項目を見つけます。
2. リスト項目の [フォロー] 列で、以下のいずれかを実行します。
 - リスト項目をフォローするには、[フォロー] という文字の左側にある緑のアイコンをクリックします。
 - リスト項目のフォローをオフにするには、[フォロー] という文字の右側にあるアイコンをクリックします。

Chatter 情報の表示

Chatter は **CA Agile Vision** と **CA Product Vision** のどちらでも利用可能です。これらの製品のどちらかに表示される Chatter 情報は、その製品にのみ関連します。

Chatter 情報は、Chatter リスト ページまたは詳細ページから表示できます。

Chatter リスト ページ

この Chatter ページには、**CA Agile Vision** または **CA Product Vision** でフォローしているすべての項目に対する統合されたアクティビティが一覧表示されます。

Chatter リスト ページの表示方法

1. 表示する Chatter 情報に応じて、[Product Vision] または [Agile Vision] メニューに移動します。

2. メニューが表示されたら、[概要]メニューから[Chatter]を選択します。
フォローしている項目の Chatter アクティビティの完全なリストが表示されます。

詳細ページの Chatter フィード

リスト項目の詳細ページでは、Chatter フィードを使用できます。この Chatter リストは、選択したリスト項目にのみ関連します。

詳細ページの Chatter フィードを表示する方法

1. 項目 (CA Product Vision の特定の要件や CA Agile Vision の特定のスプリントなど)の詳細ページを開きます。
2. [表示]フィールドで、[Chatter フィード]を選択します。
項目の Chatter アクティビティが表示されます。

第 7 章: CA Product Vision と CA Agile Vision の併用

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Product Vision と CA Agile Vision の併用について](#) (P. 88)

[エピック](#) (P. 89)

[スプリントの作成](#) (P. 92)

[チームの作成](#) (P. 94)

[ユーザストーリー](#) (P. 97)

[例: 従来の要件の Agile 開発への接続](#) (P. 106)

CA Product Vision と CA Agile Vision の併用について

CA Agile Vision と CA Product Vision を併用している場合は、CA Product Vision での作業中に以下の CA Agile Vision タスクを実行できます。

- エピックの作成

CA Product Vision の[要件の詳細]ページからエピックを作成したり、既存の CA Agile Vision エピックを要件にリンクすることができます。エピックでは、要件をグループ化して「ユーザ インターフェース」や「スクラム チームの管理」など、より大きなカテゴリにするのに役に立ちます。

- スプリントの作成

CA Product Vision でスプリントを作成して必要なフィールドの自動入力を行うと、CA Agile Vision で[スプリントの詳細]が表示され、ユーザ ストーリーを入力できます。

- チームの作成

製品のスクラム チームを作成する際、チーム名、予測ベロシティ、ストーリーポイントスケール、および会議の詳細などの主要情報を指定します。

CA Product Vision でチームを作成した場合は、CA Agile Vision を開いて[チーム]リスト ページに移動し、チームを見つけることができます。

- ユーザ ストーリーの作成

[要件の詳細]ページから、要件のユーザ ストーリーを作成し、既存のユーザ ストーリーを要件にリンクできます。

- タスクの作成

CA Agile Vision のユーザ ストーリー用のタスクを作成できます。

エピック

エピックを作成してそれを特定の要件にリンクするか、CA Agile Vision から既存のエピックを要件にリンクすることができます。

CA Product Vision で要件のエピックを作成すると、その 2 つはリンクされます。

以下は、CA Product Vision で作成されたエピックに該当します。

- エピックは、要件と同じ製品、リリースおよびスプリントと関連付けられる必要があります。
- CA Product Vision で作成されたエピックは、CA Agile Vision に含まれ、その製品から表示および編集できます。
- 要件およびその関連付けられたエピックを表示するには、[トレーサビリティマトリクス]または[要件階層]を開きます。
- エピックは、関連付けられたユーザ ストーリーを持つことができます。

以下の図は、[トレーサビリティマトリクス]内の親要件と子要件、およびそれに関連付けられたユーザ ストーリーを示しています。

表示: トレーサビリティマトリクス フィルタ: なし + フィルタの追加/編集			
表示: 100 アイテム 1 - 1 合計 1 ◀ 1 ▶			
要件レベル 1	要件レベル 2	ユーザストーリー レベ...	ユーザストーリー
Requirement A		Epic A	
	Requirement Child A	Epic Child A	

要件とエピックは親子関係を示すためにレベルによって定義されます。その結果、エピックは関連付けられた要件と同じレベルに表示されます。

[トレーサビリティマトリクス]で要件名またはユーザ ストーリー名をクリックして、その詳細を参照できます。

エピックの作成

次の手順に従ってください:

1. [Product Vision]メニューから[要件]ページを開きます。
2. 要件をクリックして、[要件の詳細]ビューを開きます。

3. [ユーザストーリー]および[エピック]のセクションまでスクロールし、[新規エピック]をクリックします。

[新規エピック]ポップアップ ダイアログ ボックスが表示されます。

4. 必要に応じて、フィールドに以下の情報を指定します。

タイトル

エピックの名前。

製品

エピックが適用される製品を指定します。

担当者

エピックを所有するチーム メンバを指定します。

ポイント

エピックに関連付けられた作業を行うために見積もられたポイントの数。

優先度

製品内でのエピックの重要性を指定します。

値

- なし
- 非常に高い
- 高
- 中
- 低
- 非常に低い
- 非優先

ステータス

エピックの現在のステータスを指定します。

値

- なし
- 計画済み
- 進行中
- 完了
- クローズ

チーム

エピックに関連付けられたスクラム チームを指定します。

テーマ

エピックに関連付けられたテーマの名前を定義します。

制限: 80 文字

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

5. [保存して終了]をクリックします。

子要件の名前をクリックして詳細ページを開き、エピックを子要件にリンクさせることもできます。同様の方法でエピックをリンクします。

エピックの要件へのリンク

次の手順に従ってください:

1. [Product Vision]メニューから[要件]ページを開きます。
2. 要件をクリックして、[要件の詳細]ビューを開きます。
3. [ユーザストーリー]および[エピック]のセクションまでスクロールし、[ユーザストーリー/エピックのリンク]をクリックします。

[ユーザストーリー/エピックのリンク]ポップアップ ダイアログ ボックスが開き、現在の製品に関連付けられたユーザストーリーおよびエピックが表示されます。

4. エピックを選択し、[保存して終了]をクリックします。

エピックが、ユーザストーリートエピックのリストに表示されます。

子要件の名前をクリックして詳細ページを開き、エピックを子要件にリンクさせることもできます。同様の方法でエピックをリンクします。

スプリントの作成

特定のリリースの Product Vision の[リリースの詳細]ページからスプリントを作成できます。

次の手順に従ってください:

1. [リリース]リスト ページを開きます。
2. リリースを選択し、[表示]を選択します。
[リリースの詳細]ページが表示されます。
3. [スプリント]セクションで、[新規スプリント]をクリックします。
[スプリント編集]ページが表示されます。
4. 以下のフィールドに入力します。

スプリント名

スプリントの名前を指定します。

必須: はい

制限: 80 文字

開始日

スプリントの開始日を指定します。スプリントの開始日と終了日は、リリースの開始日と終了日の範囲内にある必要があります。

必須: はい

形式: mm/dd/yy

製品

製品の一意の名前を指定します。

必須: はい

アクティブ

スプリントがアクティブかどうかを指定します。アクティブでないスプリントは、CA Agile Vision 全体でフィルタのオプションとして表示されません。

既定値: アクティブ

終了日

スプリントの終了日を指定します。スプリントの開始日と終了日は、リリースの開始日と終了日の範囲内にある必要があります。

必須: はい

形式: mm/dd/yy

リリース

スプリントが関連付けられているリリースの名前を指定します。

必須: はい

ゴール

スプリントの予測結果を指定します。

制限: 3000 文字

リスク

スプリントの成功または結果に影響する要因を指定します。

制限: 2000 文字

ふりかえり

スプリントのふりかえりから記録したい情報を指定します。

5. [保存]をクリックします。

[スプリント バックログ & チャート]ページが表示されます。

チームの作成

CA Product Vision では、製品のスクラム チームを作成できます。チームは、チームがタスクを完了する製品の[詳細]ページ上で作成されます。チームを作成すると、情報が CA Agile Vision と共有され、チームがその製品のチームリストに表示されます。

スクラム チームの作成方法

1. [製品]リスト ページを表示し、次に、チームを作成する製品を選択し、[表示]をクリックします。
[製品詳細]ページが表示されます。
2. [チーム]セクションで、[新規チーム]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

チーム名

スクラム チームの名前を指定します。

必須: はい

制限: 80 文字

アクティブ

チームがアクティブかどうかを指定します。アクティブでないチームは、CA Agile Vision 全体でフィルタのオプションとして示されません。

既定値: アクティブ

予測ベロシティ

スプリント中に実際に完了可能であるとスプリント チームが信じる、予想合計ストーリー ポイントを定義します。ベロシティは、スプリントバックログ内でチーム キャパシティとして表示されます。

この値は、チームの割り当て先の各新規スプリントのチームのデフォルトのベロシティになります。この値は、[スプリントバックログ & チャート] ページでスプリント チームを編集して、必要に応じて変更できます。

ストーリー ポイント スケール

チームが使用するストーリー ポイント スケールを定義します。カンマ区切りの数字のリストを入力します。

既定値: フィボナッチ数列 1 から 21

製品

製品の一意の名前を指定します。

必須: はい

スクラム ミーティングの時間/場所

日次スクラム ミーティングの時間と場所を指定します。

1 日の作業時間

すべてのチーム メンバが、チームのためにアクティブに作業するために費やす 1 日の基本的な、または標準の時間数を定義します。この値は、バーンダウンの計算で使用されます。

スクラム チームドメイン

チームのドメイン名または URL を指定します。

4. [保存]をクリックします。

メンバのチームへの追加

メンバのスクラム チームへの追加方法

1. [製品]リスト ページを表示し、次に、製品を選択して[表示]をクリックします。
[製品詳細]ページが表示されます。
2. [チーム]セクションで、[チームの詳細]ページを表示するチームの名前をクリックします。
3. [チーム メンバ]セクションで、[新規スクラム チーム メンバ]をクリックします。
[チーム メンバ編集]ページが表示されます。
4. 以下のフィールドに入力します。
5. 以下のフィールドを編集します。

メンバ名

スクラム チームに追加するユーザを指定します。リスト内のユーザ名は、ユーザとしてすでに追加されている Salesforce.com ユーザです。

アクティブ

チームメンバがチーム内でアクティブかどうかを指定します。

既定値: アクティブ

配置(%)

メンバをこのチームまたは製品に割り当て可能な時間の割合(%)を指定します。値が指定されない場合、チームメンバはチーム配置チャートで考慮されません。

既定値: 0%

チーム

メンバが追加されているスクラムチームの名前を指定します。

既定値: 現在のスクラムチーム

必須: はい

ロール

チームでのメンバのロールを指定します。

値:

- メンバ
- スクラム マスタ
- 製品オーナー

チームメンバに関するメモ

チームメンバに関する追加の関連情報を指定します。

制限: 255 文字

6. 以下のいずれかを実行します。
 - ユーザをチームに追加するには、[保存]をクリックします。
チームメンバが追加され、[スクラムチームの詳細]ページに戻ります。
 - ユーザをチームに追加し、チームに追加する別のユーザを選択するには、[保存して新規作成]をクリックします。
[スクラムチームメンバの編集]ページが表示されます。

ユーザストーリー

CA Product Vision で要件に対するユーザストーリーを作成すると、その要件とユーザストーリーがリンクされます。

CA Product Vision で作成されたユーザストーリーには、以下の記述が適用されます。

- ユーザストーリーは、要件と同じ製品、リリースおよびスプリントと関連付けられる必要があります。
- CA Product Vision で作成されたユーザストーリーは、CA Agile Vision に含まれ、その製品から表示および編集できます。
- 要件およびその関連付けられたユーザストーリーを表示するには、[トレーサビリティマトリクス]または[要件階層]を開きます。

[トレーサビリティマトリクス]で要件名またはユーザストーリー名をクリックして、その詳細を参照できます。

要件のユーザストーリーの作成

ユーザストーリーは、要件と同じ製品、リリースおよびスプリントと関連付けられる必要があります。ユーザストーリーが作成されると、ユーザストーリーに関する完全情報を完了するために、ユーザストーリーの詳細を編集します。

ユーザストーリーの作成方法

1. [要件]リスト ページを開きます。
2. ユーザストーリーを作成する要件を選択し、[表示]をクリックします。
[要件の詳細]ページが表示されます。
3. [ユーザストーリー]セクションで、[新規ユーザストーリー]をクリックします。

4. 以下のフィールドに入力します。

タイトル

ユーザストーリーの名前を指定します。

必須: はい

制限: 255 文字

例: 多くの Agile チームでは、「As a ___ I want to ___ so that ___」という形式を使用します。たとえば、「As a user, I want to see home page when I log in so that I can view my current tasks」(ユーザとして、ログイン時にホームページを表示して、自分の現在のタスクを表示したい)。

ポイント

ユーザストーリーを完了するための予想ポイント数を定義します。ポイント値は整数である必要があります。小数は許可されません。

ステータス

ユーザストーリーのステータスを指定します。

値:

- 計画済み
- 進行中
- 完了
- クローズ

既定値: 計画済み

優先度

製品におけるユーザストーリーの重要度を指定します。

値:

- 非常に高い
- 高
- 中
- 低
- 非常に低い

デフォルト: 中

説明

ユーザストーリーの目的を定義し、追加の関連情報を指定します。

製品

ユーザストーリーが関連付けられる製品の名前を指定します。

リリース

ユーザストーリーが関連付けられるリリースを指定します。

スプリント

ユーザストーリーが完了するスプリントを指定します。

5. [保存して終了]をクリックします。
6. ユーザストーリーの詳細を編集して、ユーザストーリーの完全情報を完了します。

ユーザストーリーの詳細の編集

CA Product Vision でユーザストーリーの情報を完了するには、ユーザストーリーを表示モードで開いて、編集します。

次の手順に従ってください:

1. [要件]リスト ページを開き、次に、ユーザストーリー詳細を編集する要件を選択して[表示]をクリックします。

[要件の詳細]ページが表示されます。

2. [ユーザストーリー]セクションで、ユーザストーリー名の隣の[表示]をクリックします。
[ユーザストーリーの詳細]ページが表示されます。
3. [編集]をクリックします。
4. 以下のフィールドを編集または完了します。

タイトル

ユーザストーリーの名前を指定します。

必須: はい

制限: 255 文字

例: 多くの Agile チームでは、「As a ___ I want to ___ so that ___」という形式を使用します。たとえば、「As a user, I want to see home page when I log in so that I can view my current tasks」(ユーザとして、ログイン時にホーム ページを表示して、自分の現在のタスクを表示したい)。

ポイント

ユーザストーリーを完了するための予想ポイント数を定義します。ポイント値は整数である必要があります。小数は許可されません。

担当者

ユーザストーリーを所有するチームメンバを指定します。

注: ユーザストーリーを、ストーリーを所有するスクラム チームのメンバでない CA Agile Vision ユーザに割り当てることができます。

例: 別のチームのメンバがコードレビューを補助できます。

エピック

このユーザストーリーを既存のエピックの子として定義します。ユーザストーリーの[編集]ページから、ユーザストーリーをあるエピックから別のエピックに移動できます。

ステータス

ユーザストーリーのステータスを指定します。

値:

- 計画済み
- 進行中

- 完了
- クローズ

既定値: 計画済み

優先度

製品におけるユーザストーリーの重要度を指定します。

値:

- 非常に高い
- 高
- 中
- 低
- 非常に低い

デフォルト: 中

説明

ユーザストーリーの目的を定義し、追加の関連情報を指定します。

5. [製品情報]セクション内の以下のフィールドを完了します。

製品

ユーザストーリーが関連付けられる製品の名前を指定します。

スプリント

ユーザストーリーが完了するスプリントを指定します。

テーマ

ユーザストーリーに使用される CA Agile Vision テーマを指定します。

リリース

ユーザストーリーが関連付けられるリリースを指定します。

チーム

ユーザストーリーの完了に割り当てられているスクラム チームを指定します。

要件

ユーザストーリーに関連付けられる要件を指定します。

6. [保存]をクリックします。

ユーザストーリーの要件へのリンク

要件は複数のユーザストーリーにリンクできます。要件用のユーザストーリーを作成するか、または、要件を既存のユーザストーリーにリンク(関連付け)できます。

ユーザストーリーの要件へのリンク方法

1. [要件]リスト ページを開き、要件の行上の[アクション]列で[表示]をクリックします。
詳細ページが表示されます。
2. [ユーザストーリー]セクションで、[ユーザストーリーのリンク]をクリックします。
3. リンク先の要件を選択し、[保存]をクリックします。

ユーザストーリー タスクの作成

通常、ユーザストーリーは1つ以上のタスクに分割されます。タスクは、スプリント中に1つ以上のチームメンバが実行する作業アイテムです。

ユーザストーリーのタスクの作成方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に、ユーザストーリー詳細を編集する要件を選択して[表示]をクリックします。
[要件の詳細]ページが表示されます。
2. [ユーザストーリー]セクションで、ユーザストーリー名の隣の[表示]をクリックします。
[ユーザストーリーの詳細]ページが表示されます。
3. [タスク]セクションで、[新規タスク]をクリックします。
4. 以下のフィールドに入力します。

タスクタイトル

タスクの名前を定義します。

必須: はい

タイプ

タスクのタイプを定義します。

値：

- 実装面
- QA
- ドキュメント
- 設計
- その他

既定値: なし

予想時間

タスクを完了するための予想時間数が定義されます。これには、すでにログに記録された時間が含まれます。

担当者

タスクの完了に責任を負うチームメンバを指定します。

既定値: 指定された場合、ユーザストーリーの担当者。

ステータス

タスクの現在のステータスを指定します。

値：

- 計画済み
- 進行中
- 完了
- クローズ

既定値: 計画済み

チーム

タスクに割り当てられたチームを指定します。

既定値: 指定された場合、ユーザストーリーに割り当てられたチームになります。

説明

タスク、およびタスクの完了に必要な追加情報の完全な説明を指定します。

5. [保存]をクリックします。

メモのユーザストーリーへの追加

メモをユーザストーリーに追加する方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に、ユーザストーリー詳細を編集する要件を選択して[表示]をクリックします。
[要件の詳細]ページが表示されます。
2. [ユーザストーリー]セクションで、ユーザストーリー名の隣の[表示]をクリックします。
[ユーザストーリーの詳細]ページが表示されます。
3. [メモと添付ファイル]セクションで、[新規メモ]をクリックします。
4. 以下のフィールドに入力します。

プライベート

選択時に、作成者のみメモの表示および編集が可能なことを指定します。

既定値: クリア済み

タイトル

メモの名前を指定します。

本文

メモのコンテンツを指定します。

5. [保存]をクリックします。

添付ファイルのユーザストーリーへの追加

添付ファイルのユーザストーリーへの追加方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に、ユーザストーリー詳細を編集する要件を選択して[表示]をクリックします。
[要件の詳細]ページが表示されます。

2. [ユーザーストーリー]セクションで、ユーザーストーリー名の隣の[表示]をクリックします。
[ユーザーストーリーの詳細]ページが表示されます。
3. [メモと添付ファイル]セクションで、[添付ファイル]をクリックします。
4. 表示されるページの指示に従って、ファイルを添付します。

問題のユーザーストーリーへのリンク

CA Agile Vision に表示される問題をユーザーストーリーにリンクできます。

問題のユーザーストーリーへのリンク方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に、問題のリンク先のユーザーストーリーに関連付けられた要件を選択します。
[要件の詳細]ページが表示されます。
2. [ユーザーストーリー]セクションで、ユーザーストーリー名の隣の[表示]をクリックします。
[ユーザーストーリーの詳細]ページが表示されます。
3. [問題]セクションで、[問題にリンク]をクリックします。
[問題にリンク]ウィンドウが表示されます。
4. 問題名の最初の文字を入力して、CA Agile Vision 内にある問題のリストを表示し、適切な問題を選択します。
5. 終了する場合は[保存して終了]をクリックし、別の問題をユーザーストーリーにリンクする場合は[保存して新規作成]をクリックします。

ユーザーストーリーへのコメントの追加

ユーザーストーリーにコメントを追加する方法

1. [要件]リスト ページを開き、次に、ユーザーストーリー詳細を編集する要件を選択して[表示]をクリックします。
[要件の詳細]ページが表示されます。
2. [ユーザーストーリー]セクションで、ユーザーストーリー名の隣の[表示]をクリックします。
[ユーザーストーリーの詳細]ページが表示されます。

3. [コメント]セクションで、[新規コメント]をクリックします。
4. [コメント]テキスト ボックス内にコメントを入力し、[保存]をクリックします。

例: 従来の要件の Agile 開発への接続

Karen Smith は Forward 社の製品オーナーです。リリース計画の終盤、彼女は、計画している新しいソフトウェア サービスが Agile 開発チームに割り当てられていることを発見します。開発チームは要件をユーザ ストーリーの形式でリクエストしています。

CA Product Vision で、Karen は彼女の製品の次のリリースを選択し、そのリリースに含まれる要件を表示します。彼女は各要件を個別に選択し、要件を表現するユーザ ストーリーを作成します。限られたケースで要件に 1 つのユーザ ストーリーのみがありますが、ほとんどの要件はいくつかのユーザ ストーリーを生成します。

開発チームは CA Agile Vision を使用しています。Karen がユーザ ストーリーを作成するとき、それが製品のバックログ内に表示され、CA Agile Vision の正しいリリースにタグ付けされています。

Karen がユーザ ストーリーの作成練習を完了すると、彼女は CA Product Vision の[要件]リストビューに戻ります。[表示]フィールドで、彼女は[トレーサビリティマトリクス]を選択し、ビューをフィルタして、彼女が計画している製品およびリリースを表示します。これで、彼女は、リリースの選択した機能からユーザ ストーリーへのトレーサビリティを参照できます。彼女はトレーサビリティを研究して、彼女のリリースのすべての要件が開発チームの関連付けられたユーザ ストーリーを持っていることを確認できます。

第 8 章: CA Product Vision と CA Idea Vision の併用

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Product Vision と CA Idea Vision の併用について \(P. 107\)](#)

[アイデアの詳細の表示 \(P. 108\)](#)

[要件の作成とアイデアへのリンク \(P. 108\)](#)

[既存要件のアイデアへのリンク \(P. 109\)](#)

[製品のアイデアへのリンク \(P. 110\)](#)

[ソースのアイデアへのリンク \(P. 110\)](#)

[複数のコミュニティのサポート \(P. 111\)](#)

CA Product Vision と CA Idea Vision の併用について

アイデアは、CA Idea Vision コミュニティで作成され、CA Product Vision では読み取り専用形式で表示されます。CA Product Vision ではアイデアのプロパティを編集できません。アイデアを製品、要件、またはソースにリンクできます。

CA Product Vision では、アイデアが以下のように表示されます。

- CA Idea Vision に入力されたすべてのアイデアがインボックスリスト内に表示され、コミュニティソース名が[タイプ]列に表示されます。

Idea Vision - *community_name* コミュニティ

CA Idea Vision コミュニティの名前が表示されます。

例: Idea Vision - Agile コミュニティ

- 要件、製品、またはソースにリンクされたアイデアは、要件、製品、またはソースの詳細ページに表示されます。

CA Idea Vision では、製品と要件をアイデアにリンクできます。以下のルールに関するメモ

- アイデアを複数の製品にリンクできます。
- 製品を複数のアイデアにリンクできます。
- アイデアを複数の要件にリンクできます。

アイデアの詳細の表示

アイデアの詳細を表示する方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[概要]メニューから[インボックス]を選択します。

インボックス アイテムのリストが表示され、リスト内に CA Idea Vision で入力されたアイデアが表示されます。

2. 詳細を表示するアイデアを見つけて、[表示]をクリックします。

選択したアイデアの詳細ページが表示されます。このページから、アイデアにリンクされている CA Product Vision の製品、要件、またはソースを表示できます。また、リンクをクリックして、CA Idea Vision の詳細ページを表示することもできます。

要件の作成とアイデアへのリンク

要件を作成し、それをインボックス内のアイデアにリンクする方法

1. [Product Vision]メニューに移動し、[概要]メニューから[インボックス]を選択します。

インボックス アイテムのリストが表示され、リスト内に CA Idea Vision で入力されたアイデアが表示されます。

2. 対応する要件を作成するアイデアをリストから選択し、[新規要件]をクリックします。

[要件]リスト ページが表示されます。

3. 以下のフィールドに入力します。

タイトル

要件の名前を指定します。

説明

作成または編集されている項目の説明を提供します。

カテゴリ

ユーザの会社で定義されている要件の分類方法を指定します。ドロップダウンリストからオプションを 1 つ選択します。

複雑度

要件の完了に関して、予測される困難の度合いを指定します。

値: 高、中、低

計画コスト

要件の見積費用を指定します。

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

優先度

要件が他の要件よりも優先されることを指定します。

値: 非常に高い、高、中、低、非常に低い、非優先

製品

要件が適用される製品(複数可)を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

4. [保存して終了]をクリックします。
5. 要件の詳細を編集して、要件の完全情報を完了します。

既存要件のアイデアへのリンク

アイデアを要件にリンクするには、両方が同じ製品とリンクされているか関連付けられている必要があります。

要件のアイデアへのリンク方法

1. [要件]リスト ページを開き、要件の[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
2. [インボックス項目]セクションで、[インボックス項目にリンク]をクリックします。
要件の製品にリンクされたインボックス項目のリストが表示されます。
3. 要件にリンクするアイデアを選択し、[追加]をクリックします。

製品のアイデアへのリンク

製品を複数のアイデアにリンクできます。

製品のアイデアへのリンク方法

1. [製品]リスト ページを開き、製品の[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
2. [インボックス アイテム]セクションで、[インボックス アイテムにリンク]をクリックします。

CA Idea Vision から利用可能なインボックス アイテムのリストが表示されます。

3. 製品にリンクするアイデアを選択し、[追加]をクリックします。

ソースのアイデアへのリンク

ソースをアイデアにリンクする方法

1. [ソース]リスト ページを開き、ソースの[アクション]列で[表示]をクリックします。
[詳細]ページが表示されます。
2. [インボックス項目]セクションで、[インボックス項目にリンク]をクリックします。
インボックス項目のリストが表示されます。
3. ソースにリンクするアイデアを選択し、[追加]をクリックします。

複数のコミュニティのサポート

CA Idea Vision メンバは、CA Product Vision インボックスに送信されるアイデアをサブミットできます。デフォルトでは、アイデアは CA Idea Vision 内部コミュニティを通じてサブミットされます。CA Idea Vision バージョン 5 がインストールされていると、以下の形式で、複数のコミュニティから CA Product Vision インボックスにアイデアを受信できます。

`Idea Vision - CommunityName`

要件: 以下タスクが CA Idea Vision システム管理者によって実行される必要があります。

- CA Idea Vision バージョン 5 がインストールおよび展開されている。
- アイデア コミュニティが、内部既定サイト以外でセットアップされている。
- アイデア サイト セットアップ プロファイル ページに IV_Default フィールドが追加されている。
- ユーザがアイデア コミュニティにリンクされている。

複数のコミュニティのサポートをセットアップする方法については、CA Idea Vision のドキュメントを参照してください。

付録 A: アクセス権 (要件管理)

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Product Vision のアクセス権](#) (P. 113)

CA Product Vision のアクセス権

以下のユーザプロフィールが CA Product Vision で利用可能です。

スーパーユーザー

このプロフィールを持つユーザは、CA Product Vision データに対する管理者権限を持っていますが、Force.com オペレーティング環境に対する管理者権限は持っていません。スーパーユーザーは、[管理]メニューにリストされているフィーチャーを使用して、以下のタスクを実行できます。

- ユーザの追加
- CA Product Vision セットアップの設定

製品オーナー

このプロフィールを持つ人には、製品メンバシップに関わらず、以下を表示、作成、編集、削除する権限があります。また、スーパーユーザーには、チームのメンバであれば、その製品に参加する権限があります。

- リリース
- フィーチャー
- 要件
- スプリント
- ユーザストーリー

製品オーナーは、製品の作成または Vision ユーザの追加ができません。

ユーザ

このプロフィールを持つユーザは、以下のタスクを実行できます。

- 製品、リリースおよびフィーチャーの作成および管理
- 要件の作成および管理
- ソースとペルソナの作成および管理

CA Agile Vision と CA Product Vision を併用している場合、ユーザは CA Agile Vision ページを参照し、[Agile Vision]メニューから以下の任意のタスクを実行するため、製品に割り当てられている必要があります。

- テーマの作成、編集、削除
- ユーザストーリーおよびタスクの作成、編集、管理
- スクラム チームの編集
- スプリントへの参加

付録 B: サードパーティライセンス契約

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Ext JS - JavaScript Library](#) (P. 115)

[JSON 1.0](#) (P. 117)

[jquery 1.3.2](#) (P. 118)

Ext JS - JavaScript Library

Ext JS - JavaScript Library

Copyright (c) 2006-2010, Ext JS, Inc.

All rights reserved.

licensing@extjs.com

<http://extjs.com/license>

Open Source License

Ext is licensed under the terms of the Open Source GPL 3.0 license.

<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>

There are several FLOSS exceptions available for use with this release for open source applications that are distributed under a license other than the GPL.

* Open Source License Exception for Applications

<http://extjs.com/products/floss-exception.php>

* Open Source License Exception for Development

<http://extjs.com/products/ux-exception.php>

Commercial License

This is the appropriate option if you are creating proprietary applications and you are not prepared to distribute and share the source code of your application under the GPL v3 license. Please visit <http://extjs.com/license> for more details.

OEM / Reseller License

For more details, please visit: <http://extjs.com/license>.

--

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

JSON 1.0

This product includes JSON 1.0 software, which CA distributes in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2002 JSON.org

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

The Software shall be used for Good, not Evil.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

jquery 1.3.2

This product includes jquery 1.3.2 software, which CA has elected to distribute in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2009 John Resig, <http://jquery.com/>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.